

LION'S

Lions Club International District 333-C



2013

Vol.

1

HEAD NEWS

第96回ハンブルク国際大会



Shinnittetsusumikin-Kimitsuseitetsujyo



ガバナーに聞く

「美しい村」に向かって

世界のライオンズここに集う

第96回

ハンブルク国際大会

【写真】 地区LCIF副委員長 L高橋昌男
地区情報委員長(P.R.I.T) L平野寛明

中世ハンザ同盟の一翼を担つた古都ハンブルク。現在もドイツ第二の都市として、また、自由都市としての地位を維持し北部ドイツの経済・文化の中心となっている。7月5日～9日、そのハンブルクで第96回国際大会が開催された。

国際協会発表によると、今国際大会の合計登録者数は24,749人。主な国別の登録者数は、一位がドイツの5,918人。二位が日本の3,725人。三位がアメリカの2,099人。四位がフランスの1,336人。五位が中国及び香港・マカオの1,298人とのことである。

今大会では我が国3人目の国際会長となるべく、し山田實紘が第二国際会長に立候補し、無事当選した。また閉会式では、バリー・パーマー新国際会長よりし正木守が333-1C地区ガバナーに任命され、「美しい村」への第一歩がまさに始まつたのである。





Lions Club International District 333-C

CONTENTS

HEAD NEWS

世界のライオンズここに集う

第96回ハンブルク国際大会

インターナショナルパレード



今期のガバナーマークは、君津レオクラブのメンバーによってデザインされました。

中央の龍は、日本にライオンズが出来た1952年が辰年であることからイメージされ、333Cとデザインされている。

このデザインは地区HPからダウンロードできます。ガバナー公式訪問等でお使い下さい。



表紙の写真

新日鐵住金君津製鉄所（君津市）

日本最大の鉄鋼の消費地である首都圏の隣接した鉄鋼生産拠点として、1965年に当時の八幡製鉄君津製鉄所として操業を開始。年間粗鋼生産量1千万トン超を誇る同社の中核製鉄所である。映画『大地の子』のモデルにもなった製鉄所としても有名。

写真提供

新日鐵住金君津製鉄所

52 51 50 49 48 46

・ · · · · · · · · · ·

キヤビネット構成員等名簿
組織図

年間行事予定

参加のお誘い

情報委員紹介・クラブニュース投稿

地区情勢・編集後記

クラブ三役名簿

キヤビネット構成員等名簿

世界のライオングループここに集う

第96回ハンブルク国際大会報告

日本の念願再び・・・このハンブルク国際大会は色々な意味で日本ライオングループの転換点になるかもしない。L山田實紘第二国際会長の誕生である。それは地元ドイツに次いで2番目の3,700人という登録者数を見ても歴然である。そのハンブルク国際大会の模様をL高木次雄LCIF委員長とし金基英女性会員増強委員長のレポートからお伝えする。

【写真 地区LCIF副委員長 L高橋昌男】



今日は日本ライオングループから国際第二

した。

副会长が立候補しましたので代議員の参加を呼びかけて、過去最高の千名を超える登録者でした。結果は950票。しかしながら対立候補が辞退したため、L山田實紘が国際第二副会长になりました。

私は8時30分から資格審査ベースに詰めきりでしたが、パレードは前日の打ち合わせした甲斐があり無事に出来たそうです。複合地区国際大会委員長のL塙田雅二の指揮の下、整然と行進をしたのを後のライオン誌で見ました。

閉会式では、今回L長澤ガバナーが都合で参加できなかつたので、エレクトリボンをL金井一夫前地区ガバナーが外して無事、L正木守ガバナーが誕生しました。参加者一同感動の瞬間ですね。

7月4日、皆さんより1日早くハンブルク入りして、会場の下見したり本部ホテルに行き資格審査の会議に出でて、5日19時にはオールジャパンの国際大会委員会のパレード打ち合わせに。今回はMD333から国際理事が立候補したので、パレードはMD333主導で行いました。

333-LC地区の夕食会（L正木守を励ます会）でのL正木のスピーチで、「国際大会参加の皆さんがこの楽しさを帰つてメンバーに伝えて欲しい、この感動を味わえばライオングループが好きになりました」と話されま

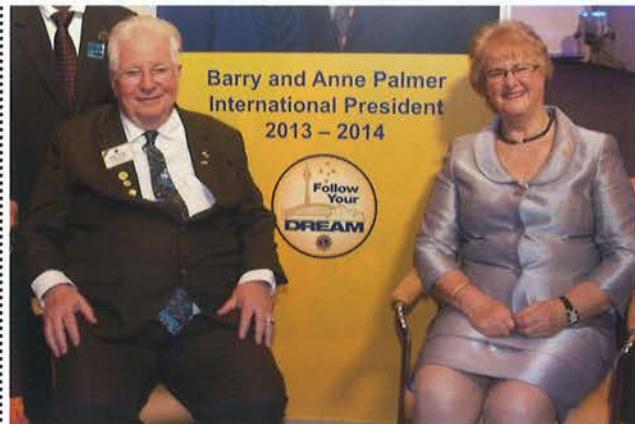




第96回ハンブルク国際大会報告



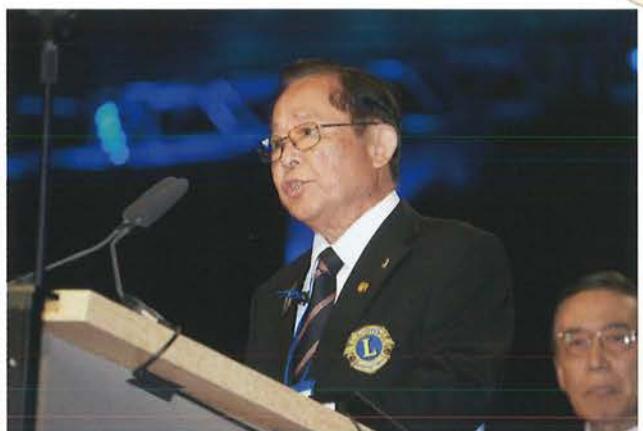
開会式に入場するウェイン A. マデン 2012-13 国際会長夫妻



閉会式直後のバリー・パーマー 2012-13 国際会長夫妻

333複合地区晩餐会





日本ライオンズの悲願であった、L.山田実紘第二国際会長の誕生。333複合地区からもL.清水英徳国際理事が誕生し、日本の健在ぶりをアピールした国際大会となった。我らが333-C地区参加者も、インターナショナルパレードでは要所で活躍、存在感を示していた。



第96回ライオンズクラブ国際大会に参加して！

【地区女性会員増強委員長 L.金 基英】

昨年に統いて二回目となる国際大会への参加。初めて参加した昨年の釜山国際大会は自分の母国でもあり、心配ないと思って自分で手配をして参加したので、詳しい日程も何處で何をどうすれば良いかも分からぬ。それこそ言葉にだけは不自由しなかつたものの、全てが分からぬものだらけ。そんな国際大会でした。

そんな訳で昨年は開会式、パレードとガバナーを囲む会しか参加できなかつたのに比べ、今年は代議員登録もして投票もしたし、殆どの行事にも参加できた。それは全部、仲間のお陰だと言つても過言ではない。ネットで繋がつていた仲間との交流は、ネットの便利さ、凄さを体感できた素晴らしい時間だった。勉強不足の私にとって今年のハンブルク大会は、何の為の国際大会参加なのか、そしてライオンズクラブは国際団体であるということを沢山学んだ本当に忘れられない大会となりました。

特に印象に残ったのはインターナショナルパレード。地区を超えて日本のライオンズが一つになり、世界中のライオン達に日本をアピール。何時間もあの炎天下で待たされた事すら忘れる程盛り上がつた我ら333-C地区

のパレードの女王達：ライオンである事に誇りを持って楽しんだひとときでした。

二回目の参加で殆どの行事に参加して思つたことは、一人でも多くの人に国際大会に参加して欲しいということ。自分のクラブから外に目を向け、沢山の仲間を作り、そこから更に仲間との交流が広がる。そのきっかけになるのが国際大会なのだから。寂しがり屋の私が、一人で参加しても独りでないんだと思つて、言葉が不自由でも何とかなると思えた時間。それは全て、仲間の愛に包まれたから。リジョンとか地区とか国とか、文化も民族も超えてライオンズの素晴らしさを実感できましたし、明日からまた奉仕を頑張ろうと心から思えた。それが国際大会に参加しての私の収穫でした。

皆さん本当にお世話になりました。
ありがとうございました。

また、国際大会で会える日を楽しみに！





「美しい村」に向かって！ L正木 守が33代333-C地区ガバナーに就任

転換期に立つ日本ライオンズ

「各国のライオンズに祝福の言葉を贈られ、握手を求めますが、その様子からは世界のライオンズが日本の国際会長誕生を願い、期待していたことが伝わってきます。大変うれしく思うと同時に大きな責任を感じ、その期待に応えるために全力を尽くしたいと思います」就任後初の国際理事会を終えてのL山田實紘の言葉である。インド等の新興国の勃興により世界第2のライオンズ国という立ち位置を離れて久しい我が国ではあるが、会員数・L C I Fに対する拠出額等々を見ても、いまだに世界に冠たるライオンズ国であることに疑いの余地はない。

ライオンズは世界最大の奉仕団体であるとよく言われる。それを一番身近に感じられるのが国際大会への参加であろう。

日本人の国際副会長就任は、1978年6月の東京国際大会で第3副会長に当選した故L村上薰（81—82年度国際会長）、87年7月の台北国際大会で第3副会長に当選した故L小川清二（89—90年度国際第1副会長在任中に逝去）に続いて3人目。L山田實紘第二国際会長は15年6月にホノルルで開催予定の第98回国際大会で、第98代国際会長に就任することになる。また、その翌年の第99回国際大会は福岡で開催さ

れ、記念すべき第100回国際大会は、ライオンズ発祥の地であるアメリカ・シカゴでの開催となる。

L正木守333-C地区ガバナーは前出で紹介の通り、「国際大会に参加し、世界中のライオンと奉仕の欲びと感動を分かち合うことが奉仕の源泉となり、大きな退会防止となる」と話されている。様々な事情で参加が厳しいメンバーもいることだろうが、是非自分が世界最大の奉仕団体に参画していることを実感し、明日の奉仕への活動を得るためにも国際大会への参加を計画してみてはどうだろうか。そして代議員としてクラブを代表して一票を投じていただきたい。その一票においてライオンズは皆、平等なのだから。

【文 地区情報委員長 L平野寛明】





Lions Club International District 333-C



2013～2014年度

〈地区ガバナースローガン〉
あす
**将来のため
今動き出そう
愛ある奉仕**

ライオンズクラブ国際協会333-C地区 地区ガバナー L 正木 守

2013年4月21日、333-C地区第59回年次大会において地区ガバナーエレクトに選任され、7月9日ドイツ・ハンブルク市で開催された第96回国際大会の席上にて、パリー・パーマー国際会長より333-C地区33代地区ガバナーに任命されました。身に余る光栄でありますと共に、その重責を痛感しております。輝かしい歴史と伝統を継承し粉骨碎身、333-C地区の発展のために全力を尽くす覚悟であります。

今後とも絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





ガバナー基本方針・重点目標

1. 単位クラブ奉仕活動の充実とクラブ例会の活性化

- ◆ 単位クラブの奉仕活動を優先して、誇りと感動の事業を推進する
- ◆ クラブ例会の活性化（例会出席 100% メイク・アップを含む）の実現

2. 次世代に繋がる指導者の育成

- ◆ 若手・女性フォーラムへの参加協力
- ◆ 指導力育成（リーダーシップ）研修会への参加協力
- ◆ 公認ガイディング・ライオン研修会への参加協力

3. 青少年育成活動の充実

- ◆ YCE 活動の参加協力（YE 生の受け入れ、派遣事業）
- ◆ レオクラブの EXT およびレオクラブ事業への参加協力
- ◆ ライオンズクエスト活動の本格化（校内型ワークショップの実現）
- ◆ 地域の青少年健全育成活動（学校等における薬物乱用防止教室の実施）

4. LCIF（ライオンズクラブ国際財団）への協力・活用

- ◆ \$1,000 個人献金の実施
- ◆ \$20/ 人のクラブ献金の実施

5. EXT・会員増強・退会防止

- ◆ 会員増強（各クラブ 5 名入会 : 2 名退会）純増 3 名の推進
- ◆ クラブ EXT の推進（地区内 3 クラブ）
- ◆ 20 名以下のクラブの会員増強およびクラブ支部結成（地区内 50 クラブ支部）
- ◆ 女性会員 30% (400 名) という目標を 2014 年 6 月 30 日までに達成（国際会長メッセージ）

ガバナー重点目標として 5 項目を掲げさせていただきましたが、ただ掲げるだけでは「夢を追いかける」ことは不可能です。それにはリーダーが「明確な目標」を持ち、リーダー自身が「目標を達成できる」ものと信じなければなりません。またリーダーは「目標の達成方法」を具体的な形で会員に理解させなければなりません。そしてリーダーは「具体的行動内容」を会員に与えなければなりません。最後にリーダーは「目標の達成をしなければならない」と会員に思わせなければなりません。そこで、ガバナー重点目標 5 項目の「目標の達成方法」と「具体的行動内容」を記させていただきました。



1. 単位クラブ奉仕活動の充実とクラブ例会の活性化

◆ 単位クラブの奉仕活動を優先して、誇りと感動の事業を推進する

献血・献眼・献腎事業の推進（アイバンクへの献金）

社会福祉・環境保全（植樹・ビオトープ等）の実施

地域文化支援事業の実施

地域青少年育成活動の実施（スポーツ大会・凧揚げ大会・運動能力等）

※各クラブで行える、無理のない奉仕を見出し実施する

「ライオンズクラブの基本は単位クラブ奉仕活動」であり、その内容は地域に密着した事業から世界平和に関するものまで多種多様であっていいのです。それぞれの単位クラブアクティビティの積み重ねが、世界最大の奉仕団体として、社会に役立っている事は紛れもない事実なのです。

事業に大小はなく、「誰かのために役立ちたいと願う純粋で熱い想い」が大切なことだと考えています。しかし、謙虚さを持って、誇りと感動のある事業を推進していくなければ、「してやった」などと、奉仕を勘違いする会員が生まれかねません。このライオンズクラブの事業には「一人の英雄も一人の非協力者もいない」事が前提であり、体力のある人は「汗」を提供し、知恵のある人は「知恵」を出し、お金のある人は「金銭」を以て協力すればいいのです。

（但し、ライオンズクラブは寄付団体ではなく、奉仕団体であることを忘れてはなりません。）

◆ クラブ例会の活性化

楽しい例会を工夫し、例会出席 100%（マーク・アップを含む）の実現

マーク・アップのための他クラブ訪問の実施（他クラブから楽しい例会を学ぼう！）

ライオンズラベルピンの常時着用（ライオンズメンバーとしての誇りを持つ）

年間 4 回のライオンズ勉強会（クラブ例会にて）の実施

私は、「楽しくなければ、ライオンズではない」との考え方を基本としております。そして、ライオンズクラブの素晴らしいことの一つに、いつでも自由に退会できる権利があります。ただ、退会の理由が各クラブの仲間意識の欠如や、個人的利害関係等の問題であれば、とても残念なことです。

メルビン・ジョーンズのクラブ草創の原点には、自由・平等・平和・相互理解の大目標があり、さらに、その究極にある哲学は、「愛」であるべきなのです。よく「例会が楽しくない」とか「何の得にもならない」とか話している会員を見受けますが、「楽しくするのは会員のあなた自身であり、得を見出すのも会員のあなた自身」であるべきです。

楽しい例会を望むのであれば、他のクラブに例会訪問してください。いろいろなヒントがそこあります。また、T.T タイムを工夫してください。もしそれが分からなければその勉強会を我々地区役員に聞くように進言してください。我々地区役員は、決して偉い人でも優れた人でもなく、皆さんと同じ奉仕を楽しむ仲間（同志）なのです。確かに日々の活動の中で、疎ましいことや面倒なこと、厭になることも



たくさんあります。しかし、その向こうにはあなたの助けを待っている青少年や、明日をも知れぬ命の人たちが大勢いるのです。それを忘れることなく、私達一人ひとりが小さな明かりを掲げようではありませんか。

楽しい例会とは

決まりごとをしっかりと守り、自分の役割責任を果たし
奉仕事業の感動を実感し、相手の見える奉仕事業をすること
時間も金銭も体力も限られている中で、相手の立場を思いやることを基本として、各人の居場所がクラブ内にしっかりと確保されていること

2. 次世代に繋がる指導者の育成

- ◆若手・女性フォーラムへの参加協力
- ◆指導力育成（リーダーシップ）研修会への参加協力
- ◆公認ガイディング・ライオン研修会への参加協力

私自身、若手フォーラムや女性フォーラム等、最近始まったこのような集会には否定的でした。その理由は、何を基準に若手と呼ぶのか、年齢では70歳を超えていてもやる気と熱意では決して引けをとらない、心意気はまだまだ元気な会員は数多くいますし、何にもまして今のライオンズクラブを支えているのは、そのような会員の方々なのです。

しかし、20年後のライオンズクラブをイメージした時、将来のライオンズクラブを担う若手ライオンを発掘し、ライオンズの楽しみや奉仕の喜びを「若手フォーラム」の場で仲間と共有してもらう事は欠かせない事業と考えるようになりました。

更には、指導力育成（リーダーシップ）研修会で勉強していただき、多くの仲間と絆を結び、楽しいライオンズライフを味わって、将来のリーダーとして成長することを願っています。また、同じことが女性フォーラムにも言えるのです。私がライオンズに入会した30年前は、ライオンは父親、ライオネスは母親、レオは子供たち、この三クラブが揃ってこそ、健全なライオンズクラブのあり方だと習い、それを守って参りました。しかし今は30年前と違い、女性ライオンの力無くしてはライオンズクラブの将来はない時代となりました。

この333-C地区は、私の前後に女性ガバナーを擁立しており、日本中のライオンズクラブが注目しております。既存の男性ばかりのクラブに入会されてアクティビティをされる女性会員。或いはライオネスクラブや女性クラブ支部をEXTされて女性らしいアクティビティを行うなど色々な可能性がライオンズクラブの女性にはあるのです。だから、女性フォーラム等に参加され、あらゆる立場の女性にそれぞれのライフスタイルを理解しあい、それぞれの女性ライオンズメンバーに合わせた活躍の場を設け、これまでの常識や古臭い束縛を超え、^{あす}将来のために、今、活躍していただきたいのです。

公認ガイディング・ライオン研修会への参加は333-C地区の救世主となるための



ガバナー基本方針・重点目標

道かもしれません。その理由の一つに、EXT（新クラブの結成）しなければガイディング・ライオンの役目は来ないし、その役目を果たせば、クラブが一つ生まれることになるからです。

更には、疲弊したクラブや弱体化したクラブの指導者としての役割（会員維持・会員増強・クラブ運営の活性化）もあるのです。数多くのメンバーに、この公認ガイディング・ライオン研修会へ参加していただきたいと考えています。

3. 青少年育成活動の充実

- ◆ YCE 活動の参加協力（YE 生の受け入れ、派遣事業）
- ◆ レオクラブの EXT およびレオクラブ事業への参加協力
- ◆ ライオンズクラブ活動の本格化（校内型ワークショップの実現）
- ◆ 地域の青少年健全育成活動（学校等における薬物乱用防止教室の実施）

「私たちが持っている財産の中で、一番大きな財産は若者です」これは、地区名誉顧問の L 林静誠から伺った言葉であります。私も全く同感であり、この事業が途絶えたときには、「一番大きな財産」を失うことになるのです。

◆ YCE 活動の参加協力（YE 生の受け入れ、派遣事業）

YE 生は、受け入れ、派遣共に 15 年前から比べるとずいぶん少なくなりました。その頃、私も YCE（当時は YE と呼ばれていた）の地区役員を 3 年間ほど務めさせて頂きました。受け入れ家庭の方々や、派遣生の父兄から、たくさんの感謝やお礼の言葉を頂きました。また YCE 委員の仲間たちからも激励や思いやりの言葉をいただきました。いま考えると、YCE 活動は青少年の育成だけでなく、ライオンメンバーをも育成しているのではないかと思います。派遣生は必ずといって良いほど成長して戻ってきます。また、受け入れ家庭の方々の成田での見送りのシーンは、味わった人でなければわからない感動を覚えます。

このような素晴らしいアクティビティはどんなに厳しい時代であろうと絶やしてはいけない事業だと考えております。この事業には多くの会員の協力なくしては不可能ですから、是非 YCE 活動への参加をお願いします。

具体的に申し上げますと、地域の高校生の中から選抜試験をしていただき、その地区から YE 生を推薦していただけないでしょうか。一人でも多くの若者に世界を体験させたいのです。また、世界各地から日本に来る YE 生を受け入れていただけないでしょうか。日本という国を知つてもらい、世界平和を望む国だと理解してもらう為にも 世界の将来を築く為にも、今動いてはいただけないでしょうか。

◆ レオクラブの EXT および参加協力

私は、レオクラブの育成を実際に経験した立場から見て、この事業は困難かつ大変な事業だと考えています。ライオンズクラブの例会が月 2 回、レオの例会が月 2 回、



ガバナー基本方針・重点目標

その他にクラブアクティビティがあり、「こんなに拘束されるのなら、退会したい」と思う時が何度もありました。しかし、成長していく若者達の姿を見ていると、「困難で、かつ大変な事業」だからこそ、重要な事業だと気付いたのです。

私は、31歳で入会したので、クラブ内でレオクラブの担当を10年近くやってきました。若者たちと真剣に向かい合い、現場で多くの困難や対立や忍耐を経験しました。しかし、「私たちが持っている財産の中で、一番大きな財産は若者」なのです。この言葉を重く受け止め今も若者たちと、同じ目線で触れ合っています。また、クラブ内にレオを持つことで、若いライオンが育っています。このレオクラブと呼ばれる青少年育成事業は、ライオンズクラブが誇れる、素晴らしい事業だと思います。

だからこそ、レオクラブの事業に数多く参加していただき、レオクラブを理解していただき、レオクラブのEXTを真剣に考えていただき、日本の将来の為にできる範囲でかまいませんから、今動いていただきたいのです。

◆ライオンズクエスト活動の本格化(校内型ワークショップの実現)

この事業は、地区名誉顧問のL小西宗仁がこの333-C地区で初めて提唱した事業で、あれから7年の歳月が流れました。この地区ではLCIF四大交付金を受けてまで推進している事業なのであります。

この事業は、小中学生達思春期の子供たちに「ライフスキル」(生活適応能力)を身につけさせる事業であり、苦しみや迷いの中から子供たちを守り育てる事業なのです。しかし、学校でのいじめはますます増加し、教育現場に携わる先生たちは大変な思いをしています。子供達の父兄と先生達と我々ライオンズクラブメンバーが三位一体となって行う事業ですから、三者の意思疎通と協力体制がなければ、不完全な活動となり、かえって子供たちを苦しめることになりかねない事業であります。

すでに、この地区では多くのライオンズメンバーにもこのライオンズクエストを理解されてきたのではないでしょうか。しかしこの事業は、小中学生達思春期の子供たちに届かなければ、何の意味も持たないのであります。この千葉県にたった一つの学校でかまいませんから、モデル校といわれる学校を築きたいと考えています。

皆様に無理な事を強いる気持ちはありません。しかし、日本の子供たちの将来を思うのであれば、今、動かなければならぬ事業と考えています。

◆地域の青少年健全育成活動(学校等における薬物乱用防止教室の実施)

この事業(薬物乱用防止教室)を、単位クラブのメイン事業として行っている地域もあれば、全く関心の無い地域もあります。しかし、薬物乱用は大学生のマリファナ栽培や、主婦たちの昼間からの覚せい剤売買等、新聞紙上を賑わしております。また、インターネットやHPで、子供たちには間違った情報が手に入りやすくなっています。

この事業を始めたころ私は大変悩んだことを覚えています。もう20年ほど前になりますが、学校の先生に「薬物乱用防止教室」を開催していただきたいとの交渉に伺った際、「何も知らない子供たちにこのような教室は不要だ」とか、「うちの学



ガバナー基本方針・重点目標

校では薬物教室など、かえって寝た子を起こすようなまねはしたくない」等の言葉が返っていました。あれから20年、根気よく学校を訪ね薬物乱用防止教室を開催しているうちに、今では学校から積極的な依頼があるようになりました。

薬物乱用に対して、もう寝ている子などいません。大人たちの知らない世界（インターネット）で情報はめまぐるしく飛び交っているのです。そのことを知らないのは、関心のない大人たちなのです。

だから、我々ライオンズクラブの草の根的な地道な活動が必要なのです。子供たちを対象に「ダメ！ゼッタイ」と呼び続ければならないのです。呼び続けることによって、将来の若者たちを、守り育てられるのです。もし関心のあるクラブがあれば「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」を開催いたしますので、是非、認定証を取得して日本の子供たちの将来のために、今、動きだしてください。

青少年よ、君たちはこの国の未来であり、この国の大切な宝物なのだ。

君たちが、明日への希望を捨てたとき、この国の未来は消えてしまう。

君たちが、心の居場所を無くしたとき、この国の宝は失われる。

4.LCIF（ライオンズクラブ国際財団）への協力・活用

- ◆ \$1,000 個人献金の実施
- ◆ \$20 / 人のクラブ献金の実施

この事業は、世界の奉仕活動に目を向けた金銭 ACT です。実は、東日本大震災がなければ私も気付くことはなかったと思われるところがあります。

それは、2011年3月11日の出来事は誰もが予想できなかった出来事ですが、その翌日には LCIF（ライオンズクラブ国際財団）から、1億円の支援金が日本に送られてきましたと伺っております。また、総額で17億円もの支援金が送られ、被災者には大きな力になったとも伺っております。

自分の家族や財産を失った人に、そのお金は役立ち勇気付けたことかと思います。単位クラブの一人当たり \$20 はそれほど大きな負担ではないと思いますが、今現在、世界中のメンバー135万人の会員が拠出すれば \$1 を単純に95円として計算しても、一人1,900円として25億6千5百万円にもなるのです。金銭的に余裕のある会員は、是非 \$1,000 献金に力を貸しください。

そして、もうひとつは、LCIF の資金を地域社会のために活用することも忘れないでください。世界の人々を救済できる将来のために、今動きだしていただけませんか。



5.EXT・会員増強・退会防止

- ◆会員増強（各クラブ5名入会：2名退会）純増3名の推進
- ◆クラブEXTの推進（地区内3クラブ）
- ◆20名以下のクラブの会員増強およびクラブ支部結成（地区内50クラブ支部）
- ◆女性会員30%（400名）という目標を2014年6月30日までに達成（国際会長メッセージ）

グッドスタンディングの退会者には、気持ち良く退会例会の実施

会員増強のためには、クラブ全員で楽しみながら入会お誘い訪問の実施

（隔週土曜日）

冒頭に申しあげましたが、地区内3,500名の一割近くの会員が毎年退会しているという事実を認識していただきたいのです。会員の増強を続けなければ、333-C地区のライオンズクラブの組織そのものが危うくなり奉仕活動を継続できない状況になりますかねないことも、十分理解したうえであえて最後に、上記の4項目を掲げさせて頂きました。

長引く不況や経済環境の悪化により、会員として継続が困難な状況にあることは、十分に理解できますし、退会者がでてくる事も、避けて通れない道かもしれません。経営的な事情や健康上の理由で、継続できないグッドスタンディング会員は、気持ちよく送り出していただきたいと考えております。会員の増強のためには、クラブ全員で楽しみながら隔週の土曜日にでも、時間の取れるメンバーで入会のための「声かけ訪問事業」を実施してみたらどうでしょう。一人でも多くの人たちに奉仕の喜びを知っていただけるよう、多くの人に「声かけ訪問事業」で呼びかけてください。ノルマをさせたり、嫌々ながらの運動はかえって逆効果です。メンバーの数人で楽しみながらの「声かけ訪問事業」を実施してみませんか。

クラブEXTの推進（地区内3クラブ）は、できる範囲で無理のない様な形で実施していただきたいと考えており、会員が20名に満たないクラブはクラブ支部結成を検討していただきたいと考えております。そして、5名揃えば支部として発足させ、親クラブとともに無理のないライオンズライフを楽しんでいただきたいと考えております。

「誰かのために役立ちたいと願う純粋で熱い想い」の仲間を見つけるように、
将来のライオンズのために、今動きだしてください。

以上が、次年度のガバナースローガンに関わる重点目標の5項目であり、「目標の達成方法」と「具体的行動内容」であります。

地区運営の基本は単位クラブの運営であります。単位クラブの活性化がない限り地区運営の活性化は有り得ません。夢かもしれませんのが例会出席100%（マーク・アップを含む）の実現を本気で考え、それを実現するのであれば国際会長のいう「夢実現賞」をクラブ会長あてに贈呈する考えでいます。

単位クラブの活性化が、333-C地区の発展につながりますことを、各クラブ三役皆様のご理解、ご協力をいただいて、地区運営に万全を尽くす覚悟でございます。何卒、宜しくお願ひ致します。



ガバナー基本方針・重点目標

美しい村

柳田國男

美しい村などというものは
はじめからありようがなくて
そこに住んでいる人たちが
美しく住もうと思って
初めてできるのである

何事も、まず「やってみよう！」と思わなければ
何も生まれては来ないので
美しい村も、素晴らしい家庭も
楽しい仲間たちも、感動の奉仕活動も
素晴らしいライオンズライフも
美しい地域も、素晴らしい社会環境も

まず「思わなければならぬ」のです
そうでなければ何も変わらないのです
そうでなければ何も生まれないので
私の言葉を通して、言葉の奥にある私の想いを
感じて戴きたいのです

難しい理屈は、いらないのです
美しい村を作るために、素晴らしいライオンズライフをつくるた
めに
そのために今、動き出していただきたいのです
そして今、動き出す時が来たのです



「美しい村」に向かつて

【聞き手 地区情報委員長 L平野寛明 写真 地区情報委員 L鈴木高大】
【文中表記 平野 L平野 ガバナー L正木ガバナー】

平野 日本から3人目の第二国際会長誕生ということで、非常に日本のライオンズも変わらぬかなという雰囲気がしております。ガバナースローガンもさることながら、柳田国男の「美しい村」を引用された。当地区でも、50年をなんなんとするクラブもあるとも思うのですが、そういった中でやはり、活動かなくてはならない、そして変わらなければならぬと、考えておられるのかなと感じました。

ガバナー 結局、心の持ち方がどうあるべきか。だから、美しい村というのは、結局初めからそういう村は存在しないんだよ。それも含めて、新しいライオンズなんて最初から無いんだと。そのライオンズクラブを素晴らしいしょうというメンバーが、素晴らしい、楽しいライオンズクラブを作るじやないかなと考えています。

①単位クラブの奉仕活動の充実 クラブ例会の活性化

平野 それでガバナー重点目標も最初に挙げられたのは、単位クラブの奉仕活動の充実とクラブ例会の活性化。毎年目標は立てられますが、まず、会員増強ありきで、何のためにライオンズをやるのかという指標をここまで明瞭にされたのはすばらしいですね。

ガバナー 結局伝わらないと意味が無いんですね。例えば会員増強で大事なことは何か。クラブが楽しいかなんですか。10人のメンバーとしましよう。で、10中出てくるのは7、8人。クラブ三役は毎年、「もう俺は5回目だよ」。そ

か優待会員じゃなくて、正会員20名にして奉仕活動を充実しようという指針です。

平野 この日本社会の変革。旧来のライオンズですとお金持ちの社長さんの社交場という位置づけがあつて、お付き合いでクラブに入会しお金を出せばいいと。そういう考え方で新入会員を呼び集めるのが難しい時代ではないでしょうか。

ガバナー 結局伝わらないと意味が無いんですね。例えれば会員増強で大事なことは何か。クラブが楽しいかなんですか。10人のメンバーとしましよう。で、10中出てくるのは7、8人。クラブ三役は毎年、「もう俺は5回目だよ」。そ

ういうクラブに新鮮な楽しさがある訳がないんですよ。それと、10人とか15人のクラブはまず20名にしよう。それは例会に出席できる会員。賛助会員と

持て、居場所のあるクラブにして頂きたいんです。

平野 後藤元国際理事が「ライオンズしかない時代から、ライオンズもある時代」ということを前に言われて、なるほどなあと思ったのです。やはり我々ライオンズも多様化しなければいけないと。やはり今それが転換期に。

ガバナー 多様化を認めていくクラブでないと、ライオンズの在り方はこうなんだと決め付けるタイプだと、メンバーも増えないと思います。例会を楽しくするためには人数がいると。人数が増えるとおもしろくなる。1つの例ですが、10リジョンの袖ヶ浦ライオンズクラブですが、この8月に例会訪問しました。9人の入会者がいて、それまでは本当に重たい雰囲気のクラブでした。9人が、もう活き活きとして、訪問し

たが、もう活き活きとして、訪問したことによつて、それぞれ誇りが



た時にもう嬉しくなりました。1人の会長の方針、考え方方がクラブメンバーの同意と協力を得て、新しいクラブが生まれ変わる。だから、会員数の少ないクラブは特に、会長が燃えて欲しいんです。こういうクラブにして欲しい。もうダメなんだというんじゃなく、会長が諦めない限り、会員増強の可能性、楽しい例会の可能性はゼロではないんです。

平野 まずトップが燃えてみる。経験の長いメンバーほど燃えて欲しいですね。

ガバナー そう。そうでないとライ

ンズライフが楽しくないと思いますね。

平野 恐らくライオンズは全体的に停滞なんでしょうが、その理由はなんだと?

ガバナー 1番の問題は経験の浅い層と経験の長い層。ここがうまい具合に繋がっていくクラブはうまくいってるんです。これが繋がっていかないクラブは二分化して、若者が入会してもつまらない。年寄りから見ると生意気だという風になってしまって、もっと歩み寄れるよう中間層がおればおもしろいかなと考えます。

平野 世代交代ができるなかつた。特に団塊の世代が高齢化していくんでしようが、それ以降が繋がらなかつたと?

ガバナー はい。だからうまい具合に若者を入会させてそれを盛り上げていけば、若者がまた新しい人を入れさせることによって、その1人がまた誰かを誘う。それでいいんです。

平野 そうですね。例会なり理事会で、若者のこういったことをやりたい

んだという考えを吸い上げる土壤がないと、新しい血にならないのですね。

ガバナー ですね。若者の意見を取り入れる態勢をクラブが持つておかないと、お前はそれダメだとか、それはありえないとかいう風に物事を批判的に言つてたら、居場所がなくなりますよ。

平野 まずは楽しく若者と話が出来る環境。そこが基本なんですかね。

ガバナー ですから認めてあげる事ですかね。例えばこいつは本当に活躍する若者だなと思ったら、こき使うような年長のライオンがいる。その若者は仕事もしなくちゃいけない。ライオンズクラブも物凄く動かなくちゃいけないってことで、大変になつてくるんで、退会してしまう。そういう悪循環についても考えなければ。

平野 例会出席100%目指すのが楽しくなるクラブになれば素晴らしいですね。ただ、楽しい例会というのは、漠然としてると思うんですけど。

ガバナー 例えれば、自分のクラブでうまくいかないと思った時には、よそのクラブで勉強して欲しいし、そういう機会を今回は色々な研修会を通して、皆さんに勉強していただければと思います。研修会にどんどん参加して、また、若者が行きたい場合は参加させて

ガバナー 私が考える楽しい例会というのは、居場所がある例会なんです。その人の居場所。要するにその人が何

かを、例えれば褒められる。また、自慢をするようなことをその例会で、そういう機会を与える。そうすると今まで例会に来て、口を何も聞かなかつた例会よりも、俺は昔こういうことをやつたんだぞと自慢をするような例会があつて、そして皆さんには、あ〜凄い人ですねつて褒めたところで、居場所が出来ると。また、その居場所ができることによって、そのライオンが次の知恵を出すという形のものになつていくこと、楽しくなるんじゃないですかね。

平野 お金も時間もかけてるのですが、それには怖くなると思うんです。そうすると、同じ仲間、古い殻に閉じこもってしまうこともあると思いますが、今回ガバナーは、マーク・アップを奨励されている。やはりその辺のことも踏まえて事でしようか?

ガバナー 例えれば、自分のクラブでうまくいかないと思った時には、よそのクラブで勉強して欲しいし、そういう機会を今回は色々な研修会を通して、また、若者が行きたい場合は参加させて



ガバナーに聞く

いただきたいです。

平野 メーク・アップで他のクラブに行くことを、後ろ指刺すようじやダメですね。

ガバナー ウチのクラブもありました。キャビネット役員をすること。国際大会に1人で行くこと。クラブのメンバーが白い目で見てましたんで、そういう風なことがないようなクラブにして欲しいですね。

平野 私も必携の中ではマーク・アップという言葉は知っていましたが、ここまで明確に奨励されるのもはじめてですね。

ガバナー というのはマーク・アップが死語になつていて、そういう方法がある。これは公然と国際協会が認めてることなのに、いつの間にか衰退してきたのを感じます。

平野 そういう意味では、マーク・アップをする方も色々新鮮な体験があるんでしょうね。

ガバナー そうなんですよ。マーク・

アップをするよりも、される方が。例えれば、2人来る。会員数が15人とするじゃないですか。そしたら15人揃つて広くライオンズについて語り、交流出席するのは大変だと思うんです。でも、それを今度15人揃えるように頑張つてやっていく内に、今度はそれが当たり前になつてくる。だから、私

はクラブ例会の活性化で、例会出席100%を端から諦めるのではなくて、やつてみようじゃないかと考えて欲しいのです。

②次世代に繋がる指導者の育成

平野 2番目に次世代に繋がる指導者の育成、若手、女性フォーラムへの参加の協力とあります。この数年、盛んに若手フォーラム、あるいは女性

フォーラム、壮年フォーラムというのが出てきました。特に女性に関しては日本のライオンズは非常に国際比較する立遅れてるということで、パリー・バーマー国際会長も、えー何%でございましたつけ、相当な目標値でしたね。

ガバナー 30%にして欲しい。これは至難な、千葉県で言うと400人近く入れてくれと。333-C地区は日本では上位の方なんですね。次世

代の指導者の育成というのは、様々なアッピングをするよりも、される方が。例えれば、2人来る。会員数が15人とするじゃないですか。そしたら15人揃つて広くライオンズについて語り、交流出席するのは大変だと思うんです。でも、それを今度15人揃えるように頑張つてやっていく内に、今度はそれが当たり前になつてくる。だから、私はクラブ例会の活性化で、例会出席100%を端から諦めるのではなくて、やつてみようじゃないかと考えて欲しいのです。

平野 名前が当初と変わっていますね。

ガバナー 大交流会の意義は、みんなが参加できる環境を作る。そして、

参加できる環境が次の喜びに繋がっていく。でないと、例えば女性でライオンズに入つてみたいんだけど、どういう風な人たちと、どういう風な会話をすればいいのか。そういう悩みに大交流会を活かしてもらいたい。だから色々な人と話が出来て、ライオンズつて楽しいんだよってことを、その大交流会で示したい。だから、女性も若手も私の頭のなかには無いです。みんなで楽しもうという研修会です。

平野 お互いに似たような境遇の人達が集まつて、勉強も交流もしながら、高め合う交流会になればなということですね。

ガバナー それを考えています。公認

人と会員交流をして欲しいんです。ですから若手とか女性とかではなく、幅広くライオンズについて語り、交流を持つて欲しいのです。なので今度フォーラムも大交流会にしようと思つてるんです。

ガバナー そうです。苦しいクラブ、会員数が少ないクラブというのはもう悩んで、苦しんで、迷つて動きようがないんです。そこに外から熱意を沸き立てるようなガイディングをして欲しいんです。

平野 やはりクラブがどうしても色々な理由で疲弊して、メンバーが減つて大變になる。今まで、クラブの自主性尊重の建前があるので、同じリジョンのクラブであつてもなかなか手を差し伸べにくい雰囲気があつたり。やはりガイディングライオンも含めて今回ガバナー方針で役割が振られたのであれば、仲間を助けていくシステムになればいいですね。

ガバナー やはりクラブがどうしても色々な理由で疲弊して、メンバーが減つて大變になる。今まで、クラブの自主性尊重の建前があるので、同じリジョンのクラブであつてもなかなか手を差し伸べにくい雰囲気があつたり。やはりガイディングライオンも含めて今回ガバナー方針で役割が振られたのであれば、仲間を助けていくシステムになればいいですね。

③青少年育成活動の充実



平野 3番目は青少年育成活動の充実ということで、特にガバナーはライオンズマンになられてレオもYCEも、そしてライオンズクエストも。本当に中心になって、ライオンズ人生の恐らく8割9割がこれをされてきた、本当に1番中心に持つていきたいところだと思われるんです。まずその青少年に対する想いを。

ガバナー まず、簡単な理由は20年後、

30年後を考えた時に、例えば千葉県、そして日本を背負うのは誰だと。やつ1番重要なことで、特にガバナーはL

生きれない子供達を力強い子供達にするというのが、もうどんなに食べるのに困ってもやらなくてはいけない事業だと思つてます。

平野 米百俵の精神ではないですけれども、やはりまず子弟の教育。これが1番重要なことで、特にガバナーはL林静誠元ガバナーのお言葉を引用されますね。『私達が持つてる財産の中で1番大きな財産は若者です』と。これは世界中どこでも共通する価値觀じゃないかなと。

ガバナー ですよね。

平野 今思いましたが、ライオンズには青少年健全育成についても、そのためのツールはいろいろ用意されてると思うんです。特に、YCEは国際交流と青少年健全育成の2つの面がある。

ガバナー 結局世界平和に繋がるんですね。よその国を知ることで、そして、若い時にそれを体験することによつて、戦争はいけないとか、やはり仲良くすることは素敵ことなんだというのを、理屈じゃなくて感覚で覚えるのです。

平野 私もこの前初めてサマーキャンプに参加しましたけれども、各国の子供たちがそれぞれ、平和裏に自分達のお国自慢を堂々として凄いなあと思ひますし、また参加することによって、子供達だけじゃなくて、ライオン自身も啓発され育つんじやないかと実感しますね。

ガバナー ですよね。我々も知らなくちゃいけないんですよ。様々な感性があつて、その感性を受け入れることを我々ライオンズマンは学んで、そして、育成に力を入れていただきたいと思います。

ガバナー だから、この青少年育成アクトイビティに対してもっと増えてほしいですね。レオクラブなんですが、これも昔と思うと減つておりますか？

平野 YCEだけではなく、青少年に関するアクトイビティがもっと増えて欲しいですね。レオクラブなんですが、これも昔と思うと減つておりますか？

ガバナー いや、昔からレオは少なかつたですよ。青少年の中でもレオというのには、子供達が大きくなつたら離れていくわけですね。そうすると、また会員を入れなくてはいけない。その繰り返しで私も悩んでることがあります。

どこかに観光に行くのではなく、その過程の中で、異国文化とその生活スタイルを体で学んできただきたい。そのチャンスなんです。だから、それと観光旅行とは違うものだと親御さん達が認識して、またライオンズマンが認識していくと、もつと活性化していく気がします。



ガバナー聞く

ガバナー 子供を育成するというのは

したけど、これを辛抱するのが青少年の育成なんだなと。

平野 子供達にまず経験を与え、そして、リーダーシップを育むということだと思いますが、中々ライオンメンバー自体が、レオというプログラムを勘違いしていますよね？レオに入ったから将来は必ずライオンズにならないとかんというようなことをいう人もいて。

ガバナー 最近そうなりましたね。昔はね、レオはライオンズにはするべきではないという指導を、私は先輩から受けました。子供達にチャンスを与えて、機会を与えて、経験をさせて、そして、リーダーシップを身に付けてもらいたい。それがLEO活動の目標なんですよ。

平野 広い意味でこの国の若者を育てていくからか、自分のクラブのメンバーを育てるというのは、寛容な心が必要ですね。

平野 値値観の多様化で、生きていく目的を確認するのが難しい時代になり、感受性の強い子供ほど悩んでいますね。

平野 ライオンズクラブに『将来のために』と書きました。明日のために、今動き出せよって意味合いの一つは、この青少年はやっぱりダメになりますから。

平野 ライオンズクラブというのは生活応能力の育成なんです。今はあまりにも安全に守られてる世界の子供達になつてきてるので、ちょっとしたいじめや暴力に、もう心が萎えちゃって病気になる。そこできちんとスキルを身につけて楽しいんだ、人生はということを教えたいんです。

平野 そういう意味ではクエストの一部ですが、薬物乱用防止教室は、アクトビティとしては軌道に乗りました。

平野 そういうことですね。

ガバナー 1,000ドル献金をやつしてくださいとは言いません。ただみなさんが1年間で2,000円を気よく出せる環境、そういう奉仕団体

忍耐ですよ。それを感じるから、私はガバナースローガンに『将来のために』と書きました。明日のために、今動き出せよって意味合いの一つは、この青少年はやっぱりダメになりますから。

ガバナー 私は今年はどこか1校でいいですから、千葉県にモデル校が出来て欲しいと。そういう思いで、12リジョンにクエスト委員がいたのですが、なにか焦点が絞れなくてライオンズクラブをライオンが勉強するという風な。そのプロセスが目的になつているような気がして、そうでなくして行き着く先は子供でなきやいけないんですけど。

平野 そして4番目がLCI-Fライオンズクラブ国際財団への協力と活用。MJF1000ドル献金の実施と1人20ドルのクラブ献金の実施。これはお願いということだと思いますけれども。

ガバナー 私達の子供の時は、ガキ大将がいて子供社会があつたんですね。そこで無意識に学んでいたんですよ。

平野 このプログラムがいかにダイレクトに、困ってる子供に届くようにするかということですね。ライオンズには立場とか経験を活かして、その橋渡しを期待したいという？

ガバナー ライオンズクラブは寄付団体ではないんです。だけど、このライオンズクラブ国際財団は311の時も17億円援助してくれたのです。それが被害にあつた人達の役に立つて。悲しいのは、この20ドル献金をやつしたことのないクラブがあるんです。20ドルって2,000円じゃないですか。

平野 そういう意味ではクエストの一部ですが、薬物乱用防止教室は、アクトビティとしては軌道に乗りました。

ガバナー 少なくとも10年前はやらず下さないと学校に行くと、そんな寝た子を起こすなどと言われてた。もう今は

インターネットでこういう情報がいっぱい流れますから、寝た子はいなんですよ。だから逆に我々が行つて、能動的に動いて、子供達にそれは危険だと、やるべき必要があると思いますね。

④LCI-Fへの協力と活用

であつてほしいという願いです。で、本当にお金に余裕のある人は、1,000ドル献金を何本やつて頂いても結構です。1年間に2,000円が出せないメンバーよりも、そういうところに関心を持つていないメンバー、それを知らないメンバーが多いと思います。だから、私はガバナー公式訪問では、一度もLCIFをやつていなかつたのです。だから、私はガバナー公式訪問では別に。

平野 以前でしたら顔の見えない援助とか、お金を出しても何に使われているか分からぬじやないかといふメンバーが結構おられたと思うんですけれども、御存知の通り東日本大震災では、総額で17億円の交付を受けます。我々の同胞もLCIFの恩恵を受けて、例えば大船渡の屋台村でしたか、その厨房機器も向こうの地区が、LCIFを申請してライオンマークの入った厨房機器が入つたのですが、そういうことも詳しく知つて頂いて、是非。

ガバナー せめて20ドルは

平野 当然厳しいクラブもあるかも知れませんけれども、ライオンズは世界

一の奉仕団体だといいますが、LCIFの運用額を核として、世界一の奉仕団体と認められているわけですから、世界的な視野に立つてやつていきたいですね。

⑤EXT・退会防止

会員増強について

平野 そして、最後にきたのがエクステンション・会員増強・退会防止。会員増強に対する想いをお願いします。

ガバナー 楽しいクラブであつたら増えれる。だけど、誘わないと増えないとです。だから、ライオンズクラブは、人間性の向上と、人間性を高めるための修行の場とも考えている。で、楽しければ誘う、誘わないとやっぱり絶えてしまう。50年続いている事業が、なぜなんの見返りもない事業が続いているのかということを皆さんに理解していただきたい。良いクラブであつたら誘えます。ひどいクラブだつたら誘えません。楽しいクラブだつたら誘えます。

平野 退会というのは、これは止む得ない退会もあるのです。だから、グッドスタンディングなメンバーには退会するとき、

退会例会をやつて欲しいと思います。

平野 そうですね。退会例会という言葉は造語だと思いますけども、全く思いつかなかつたので新鮮だなと思ったんです。当然事業をやつていれば、浮き沈みもあるからライオンズを残念ながら辞めて。

ガバナー やむなくね。

平野 やむなく辞めざるを得ない時期もあるだろうし、当然それがまた復帰出来る状態になることもあるのですから、やはり気持ちよく辞めて頂いて、また戻れたら気持ちよく戻つて頂くということが、クラブが長生きする秘訣ですね。愕然としたのは、毎年333ICO地区内で3500名の1割が退会しているという事実ですね。

ガバナー マザー・テレサの言葉があるのがね『愛が実ると奉仕になり、奉仕が実ると平和になる』と。だから我々は平和を作るために会員増強するんだよ。平和を守ろうとする会員が、たくさんいて欲しいというのが本音ですね。

ガバナー この7月、まだ始まつて1ヶ月ですが47名辞めますね、この1ヶ月でこれの数をかける12だとすると怖いでしょ。

平野 500名以上ですよね。

ガバナー 500名以上が退会したら、3,500人がもう3,000人に

なりますね。それでは、翌年2,500になりますよね。だから私は、会員増強というのは叫び続けなくてはいけない事業だと思います。ただ、私が1番にしなかつた理由は、楽しい例会でないと誘えないだろうというのが本音です。それと会員維持に関しては、会員維持という言葉は使いたくなくて、樂しければ残るでしょうと、ごく単純な発想なんです。

平野 ただ単に増やせ、残れじやなく。楽しいんだから仲間を増やそよと。楽しいだからなんか辛いことがあっても残ろうよ、というメンタリティがないとやはりこれは進まない。



ガバナーに聞く

平野 人は役に立ちたいと思います。役に立った時に生きがいがあるんです。生まれてくるんです。だから役に立つ1つのアイテムとしてライオンズクラブがあるんだよ。これみよがしに密着した身近な奉仕活動をやれる。そして、1年間に2,000円の寄付をしてもらえば、世界中の困った人々が助かる。だから、135万人メンバーがいます。2,000円出すと、27億円。物凄い額になると思いますで、やはりそれが、たった2,000円で出来るのであれば、大きな力になると思います。

ガバナー と思いますね。私が思うのが無理にしたらダメなんですよ。本当に楽しまなくちゃいけないんです。だから、ライオンズクラブというのは単位クラブの奉仕活動が基本で、人に言わ

な奉仕活動をするんじゃなくて、地元に密着した身近な奉仕活動をやれる。そして、1年間に2,000円の寄付をしてもらえば、世界中の困った人々が助かる。だから、135万人メンバーがいます。2,000円出すと、27億円。物凄い額になると思いますで、やはりそれが、たった2,000円で出来るのであれば、大きな力になると思います。

平野 そうですね、地域はもとより世界中に自分の善意を届けられるのが、ライオンズということですね。

ガバナー と思いますね。私が思うのが無理にしたらダメなんですよ。本当に乐しまなくちゃいけないんです。だか

ガバナー 例会にはそのメンバーや居場所を作ること。居場所を作るための企画をすること。その



入ってみようかなとか。本当はライオンズってそこまで横の繋がりまで含めて実つていけばいいですね。

ガバナー 人は役に立ちたいと思います。役に立った時に生きがいがあるんです。生まれてくるんです。だから役に立つ1つのアイテムとしてライオンズクラブがあるんだよ。これみよがしに密着した身近な奉仕活動をやれる。そして、1年間に2,000円の寄付をしてもらえば、世界中の困った人々が助かる。だから、135万人メンバーがいます。2,000円出すと、27億円。物凄い額になると思いますで、やはりそれが、たった2,000円で出来るのであれば、大きな力になると思います。

平野 どういったアクティビティをすれば、自分は楽しめるのか。そして将来どういったアクティビティが必要とされるの。そういう広い視点で会員増強もしていかなければいけないし、色々なアクティビティも考えていかなければいけない。それで新しいアクティビティを考えていけば、自然ととは言いませんが会員増強する上で

ガバナー 美しい村といふのはやはり始めからあります。がなくて、何をやりたいんだということを見つめ直して、ライオンズクラブをやって頂きました。

平野 そういう意味では国際会長のフォロー・ユア・ドリームというのは、広い意味で色々なことを包含したテーマのような気がしますね。本日はありがとうございました。

方法が分からなければ、我々キャビネットがお手伝いします。」

恐らく昔を思うと歴史のあるアクティビティが重荷になつてるクラブもあるかもしれませんし、あるいは、それがもうアクティビティとしては、その当時ほど世間の必要性が無いかもしれない。それをもう一回見直していくのが、美しい村への再出発でもあるというこ

平野 そういう意味では国際会長のフォロー・ユア・ドリームというのは、広い意味で色々なことを包含したテーマのような気がしますね。本日はありがとうございました。



サポーター講習会

例年、実施されている333-C地区献眼推進研修会が平成25年8月21日、千葉県経営者会館で実施されました。当時は、平日にもかかわらず、52クラブ・87人の参加登録がありました。

この推進研修会は毎年、千葉県アイバンク協会の花岡理事長を始めとする各役員の皆様に、講師の選定をお願いして開催をしています。

第一部では、公益財団法人・日本アイバンク協会理事長の金井淳先生にお願いをしました。金井先生は、順天堂大学医学研究科を卒業し、フロリダ大学眼科講師、順天堂大学眼科教授、同大学名誉教授などを歴任しました。そして、平成22年より日本アイバンク協会の理事長に就任し現在に至ります。

公私共にお忙しい中、講師依頼に対して、気持ち良く快諾をいただき、大変ありがとうございました。感謝する次第でございました。

講演内容は、角膜移植は臓器移植の中でも古い歴史を持ち、待機患者は全国で2,285人(24年度末)であり、角膜が不足している等、各項目に対しきめ細かい内容で理解しやすく、我々ライオンズに取っては、興味ある内容でした。

今回の講演により、各クラブの皆さ

んがアイバンク協会に対して、献眼の重要性と理解度を更に深めていただけたら幸いです。お帰りの際にいただいたアンケートには、「献眼の大切さ」と「地域貢献の役割」について、再認識しましたと記入されました。

第二部では、献眼推進委員長として、認定サポーター講習会の意義について説明をさせていただきました。

これは、私自身もそうでしたが、意外とこの講習会の「協会認定サポーター」としての役割について、理解度が希薄ではないかと思い、どういう役割を担う認定証なのか、また認定期間は3年間である等の説明をさせていただきました。

その後、本来ならば千葉県アイバンク協会理事長・花岡和明様のご挨拶をいたく予定でしたが、所要のため出席出来なく、代わりに内田千尋常務理事にお願いを致しました。内容としては、過去に「アイバンク登録」をしていただいたメンバーの名簿を整備するために、ガバナー公式訪問時に同行し、各クラブより直接確認作業をする旨のお話しがありました。大変なご努力を要する事に対して感謝申し上げます。

【文 献血・献眼・献腎推進委員長 L.萱野孝二】





暗闇と戦う盲人のための騎士たれ

地区献血推進研修会 日本アイバンク協会認定

知っていますか？ 献眼が行われるまで

(3) 登録者がお亡くなりになつた場合

登録カードは亡くさないように、また、いざという時には直ぐに意思が表示できるように携帯しましょう。

ポイント

臓器提供意思表示カードや健康保険証裏面の意思表示欄も併せて活用をしましよう。

法律が改正され、遺族の承諾だけでも提供は出来ますが、遺族的心情、速やかな提供のためにも、登録カードは常時携帯しましょう。

クラブでもメンバーの登録状況を把握するようにしましょう。

献眼推進委員・献眼サポートーには、眼科医の送り迎えや遺族のフォローでご協力いただくなつた場合があります。クラブ幹事はキャビ

登録に際しては家族と話し合い、理解を得ることが重要です。献眼は自分の死後のことですので、必ず話し合うようにしましょう。申込書には近親者の承諾署名欄もあります。

(2) 登録カードが届く

登録カードは亡くさないように、また、いざという時には直ぐに意思が表示できるように携帯しましょう。

ポイント

登録カードは亡くさないように、また、いざという時には直ぐに意思が表示できるように携帯しましょう。

(4) 献眼→角膜移植

眼科医が参上の上、眼球を摘出するか角膜を強膜ごと摘出します。眼球摘出の場合、義眼を入れます。また、検査のために採血します。検査の結果異常がなければ、患者さんお一人につき角膜1枚が移植されます。

ポイント

(1) 献眼登録を申し込む

千葉県アイバンク協会に電話でお申し込み下さい。登録申し込みはがきが送られます。

ポイント

登録に際しては家族と話し合い、理解を得ることが重要です。献眼は自分の死後のことですので、必ず話し合うようにしましょう。申込書には近親者の承諾署名欄もあります。

ポイント

家族と献眼の方法について日頃から話し合いましょう。また、クラブメンバーがお亡くなりの場合は、クラブの献眼推進委員・献眼サポートーが遺族に献眼のお願いをしましょう。お悲しみの遺族に献眼のお願いをすることは辛いものです。日頃から例会等でメンバーや同士、献眼の意思を確認し合うことも大切です。

ネット事務局にガバナー感謝状を申請しましょう。

Q & A

A 高齢でも献眼できますか？
Q 可能です。

A 夏で6時間、冬で10時間といわれていますが、なるべく早くご連絡下さい。

A

Q 献眼できない場合は？

A 一部の感染症（エイズ・B型肝炎・C型肝炎等）ではお断りする場合があります。

献眼登録者の家

ご連絡は ☎ 043-222-6803

休日と夜間は千葉大学病院眼科

☎ 043-222-7171

内線 6616・6801

財団 法人 千葉県アイバンク協会

網膜色素変性症をご存知ですか？

網膜色素変性症という病気をご存じだろうか。網膜の細胞が遺伝子の異常によって死滅し、少しづつ視野が狭くなり、失明に近い状態となる病気である。未だ治療法も治療薬も無いこの病気について、また、その患者・研究者・支援者で構成される日本網膜色素変性症協会（以下、JRPS）について、同協会理事長の金井國利氏、地区名誉顧問のL岡野正義にお話しをお伺いする。

【聞き手 地区情報委員長 L平野寛明】



平野 当地区のメンバーであれば網膜色素変性

症という名前くらいは耳にしたことがあるかも
しませんが、詳しい症状となるとそれほど理解されていないと思います。

金井 網膜というのは約1億2,000万ほど

の細胞で構成されています。その細胞が遺伝子の異常によって外縁部から死滅していく病気です。

平野 国内の患者数はどれ位でしょうか？

金井 推定で3万人ほどです。

平野 現在治療法は確立されていないそうです
が、症状を抑えることも出来ないのでですか？

金井 研究は進められていますが、治療法はまだ確立されていません。発症しますと、個人差

はあっても大体10年くらいの間に、網膜の細胞が死滅していくって視野がだんだん狭くなり、最後にはほぼ視力がなくなります。

平野 発症した患者さんは、だんだん視野がなくなる恐怖と戦いながら、そして治る望みがな

い中で日々生活することになりますね。

金井 映画にもなりましたが、宮尾登美子の『藏』という作品をご存じでしょうか？あの主人公の酒蔵の娘さん。彼女が網膜色素変性症なんですね。

岡野 この病気は確かに遺伝的に発症する場合もあるのですが、半数は「孤発例」といつて、血縁者にこの病気の方がいなくても発症します。しかし昔から「遺伝病」と一括りにされて、患者さんはつらい思いをされてきました。

平野 そういう事情もあり、世間の関心も集めにきた病気なのでしょうが、20年前にJRPSが設立されて、少しづつ環境が変わってきたのですね？

金井 はい。当協会は会員数4,000名程の団体ですが、特徴としては患者・支援者・研究者の三位一体となつた団体だということです。こういう団体は他にはないと思います。

岡野 20年前に、当時の千葉大学教授、安達惠

美子先生の呼びかけでJRPSが設立されました。私が当時、千葉ライオンズクラブの会長でした。安達教授からの相談を受けてチャーターナイト30周年の記念事業として、協会の基金として300万円をお贈りしたのが始まりです。人的・物的な支援が必要ということで、亡くなられた元地区ガバナーのL松丸善次郎など333-C地区の方々にも支援理事にご就任いたしました。

平野 協会が設立されて、安達教授やライオンズクラブの皆様のご協力もあって、当時の厚生省から特定疾患に指定していただきました。しかし治療法は確立されていませんので、協会としては「治療法の確立」と「患者の生活の質の向上」を目指して引き続き活動しております。

平野 ヘレン・ケラー女史が「暗闇と戦う盲人のための騎士たれ」と1925年の国際大会で呼びかけて以来、視力関係のアクティビティは、ライオンズクラブのお家芸と言つていいものですが、JRPSの活動支援も当時はありますね。岡野 おっしゃるとおりで、私もガバナーになつた折には他地区のガバナーにも呼びかけて、支援の輪を広げるべく動きましたが、どの地区も、或いはクラブも手持ちのアクティビティで手一杯で思うようには広がつていません。静岡青葉ライオンズクラブなど、当地区外でも熱心に支援してくださるクラブもありますが、全国的な支援の動きにならないのが残念です。

金井 JRPSも全国に35支部を持つに至つ



網膜色素変性症をご存知ですか？



岡野 研究者からお話しをお伺い

網膜色素変性症は、千葉は凄いと申されておりました。是非とも全国的なご支援をいたただければと思います。

あります。患者会員さんにはライオンズクラブのメンバーの方もおられて、千葉は凄いと申されておりました。是非とも全国的なご支援をいたただければと思います。
平野 治療や研究に関する展望はいかがでしょうか？

協会として毎年、申し込みのあった研究から2件、それぞれ200万円と100万円の研究助成を行っております。少しづつ研究も進展しております。症状の進行を遅らせる薬が国の一級試験の最終段階に入っております。また、遺伝子治療や人工網膜の研究も進んでおります。しかし、今一番期待されているのは、2012年のノーベル生理学・医学賞を受賞した、京都大学の山中伸弥教授のiPS細胞です。不治の病に向けて協会を発足させて20年。ずっと暗いトンネル続きだったところから、ようやく小さな明かりが見えてきた心境です。

岡野 道筋は

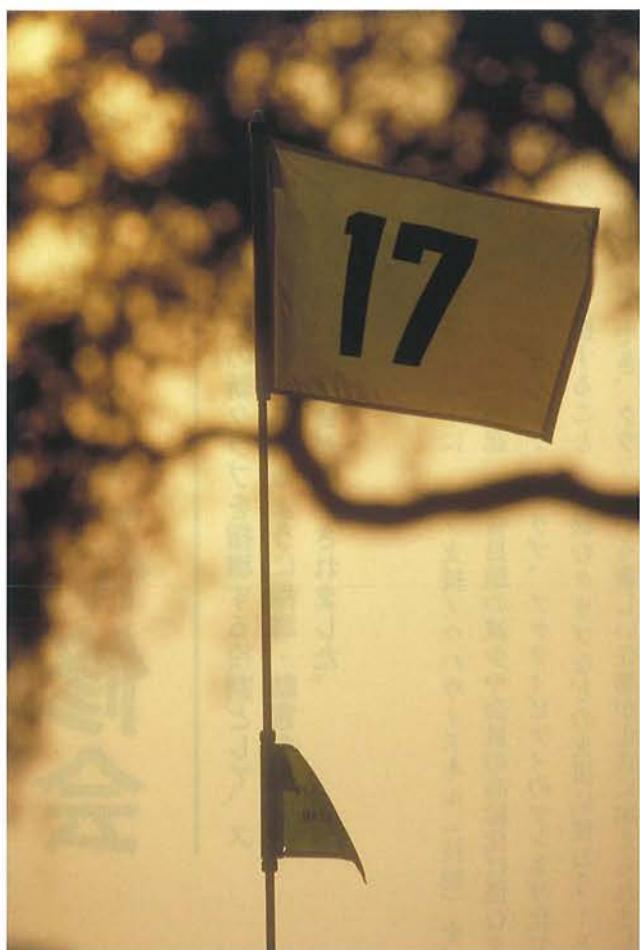
おぼろげながら見えてきたようですが、研究者からお

すると、ゴールにはまだまだ10年単位の地道な研究の積み重ねが必要不可欠のようです。
平野 何の分野の研究でもそうです
金井 iPS細胞で小さな網膜を培養して、人に移植するというのが基本的な理論のようですが、網膜を培養する事自体に大変なお金がかかるようです。それを大勢の患者さんになると、様々な分野の研究を促進させねばなりません。来年4月に日本で世界眼科学会議が行われます。JRPSとしては、協会設立20周年の節目として、その会議の1セッションとして「国際網膜絡膜変性フォーラム」を開催する予定です。引き続きのご支援を、皆様にお願いしております。

平野 当地区のL正木ガバナーも、他地区のガバナーにも呼びかけて支援の輪を広げる旨、話されておりましたし、11月にはJRPS支援コンペを協賛開催し、地区内各クラブへ参加を呼びかける予定です。

金井 大変嬉しいお話しです。ありがとうございます。
岡野 是非大勢の皆様の参加をお願い致します。

平野 本日は有り難うございました。



JRPSチャリティコンペ

【とき】 2013年11月5日（火）

【ところ】 久能カントリークラブ
(東関東自動車道・富里インターチェンジから5分)

【費用】 プレーフィー 16,000円
(キヤディー付きプレー代・昼食付き)

参加費 7,000円
(うち5,000円がチャリティ)

【申込み】 FAX 0439-127-1439

※申込書が必要な場合は、左記にお問い合わせください。

【連絡先】 実行委員会 L密本
TEL 090-3333-7586

公認ガイディングライオン研修会

ガイドィングライオンという役職をご存じでしょうか？クラブをエクステンションする際、その新クラブを指導する役割として、スポンサークラブから派遣される役職であり、任命されると2年間は新クラブに出向いて運営が軌道に乗るように指導・助言を行う役職である。今回は吉原稔貴第二副地区ガバナーを講師に、パワー・ポイントを踏まえての熱い研修会が開催されました。

正木流「公認ガイディング・ライオンでライオンズを元気に！」研修会

8月24日、千葉県経営者会館にて、県内各地と埼玉県（330—C地区）から約60名の参加者を得て、公認ガイディング・ライオン研修会を開催しました。

みなさまご存知の通り、エクステンションで新クラブが誕生すると、新クラブの役員の育成、自立したクラブ運営のために、親クラブからガイディング・ライオンが任命されて、新クラブに出向き、2年間、指導することになっています。

ところが、なにを、どれくらい、どのように指導するかは、すべてガイディング・ライオン委せて、支援の内容もレベルもバラバラ。ひどい場合には



吉原第二副地区ガバナーの講義は参加者を終始退屈させない素晴らしいものであった。

6～8時間の研修を受けたメンバーに「公認ガイディング・ライオン」の認定書を受け、その公認ガイディング・ライオンが新クラブを支援することで、新クラブが正しく自立でき、クラブ運営が軌道にうまく乗るようにする「新しい仕組み」をつくりられました。

この「公認」というのは、国際協会公認で、毎年、年次大会で選出された次期地区ガバナーエレクトに、国際協会から「公認の有効期間（3年間）内の有資格者リスト」が送られてきます。地区ガバナーは、その中から新クラブのガイディング・ライオンを選んで任命することができるのです。つまり、公認ガイディング・ライオンは、国際協会公認で、地区ガバナー直轄の、他に類を見ない特別な資格なのです。

そこで、2002年のケイ・K・フクシマ国際会長は、国際協会が定めた

公認化された意図とは

ブ支援ノウハウ・スキル（技能）を、会員数の減少や会員の高齢化に悩むクラブ、アクティビティのマンネリ化で悩むクラブなどの支援に使おう；という新しい任務が正式に加えられました。



受講者は闊達かつ真剣な討議を重ねていた。

ガバナーチームの狙い

この新たに加えられた「既存クラブの支援」任務と、「地区ガバナー直轄」という点に着目された地区ガバナール正木守（以下、L正木ガバナー）は、次のように考えられました。

①新クラブ結成前後のクラブを、公認ガイディング・ライオンの支援で元気に育てたい：

②チャーター・ナイト終了後の新クラブの大変な時期を、公認ガイディング・ライオンの支援で正しく元気に育てたい：

③会員数減少、会員の高齢化、アク

ティビティのマンネリ化などに悩むクラブも、公認ガイディング・ライオンの支援で、元気を取り戻していただきたい：

④普通に運営できている既存クラブも、公認ガイディング・ライオンのアイディアで、活性化してより元気にしていただきたい：

つまり、正しい研修を受けた公認ガ

イディング・ライオンを増やすことで、千葉県のすべてのライオンズを、より元気にできるに違いない」とお考えになつたのでした。

L正木ガバナーのこのアイディアを実現するために、定期的に開催されているガバナーチーム会議で「このアイディアを実現するために、ガバナーチーム主催で公認ガイディング・ライオン研修会を開催して人材育成に力を注ごう」と意気投合。今回の研修会を企画し、開催することとなりました。

熱い研修会開催





移ったような「熱く楽しい研修会」となりました。

この公認ガイディング・ライオン研修会は、来年2月（日程は未定）に今期2回目の研修会を、関連して、来年1月18日にクラブ向上プロセス研修会を開催する予定です。人材育成の観点から、熱意あるメンバーであれば、会長などクラブ役員経験のない入会後間もないメンバーでも、積極的に受講していただきたいと思います。みなさま、どうぞ、奮つてご参加ください！

【文 第二副地区ガバナー L吉原稔貴】



L正木地区ガバナーからは「ライオンズを楽しみましょう。そして苦境にあるクラブを共に助けてみませんか」と参加者に問い合わせがありました。

日頃より私も研修を受けて、もっとライオンズクラブの事を良く知りたいと思っていたので、研修会が開催されるとの事で受講しました。受講資料「公認ガイディング・ライオン・プログラム」は事前に国際本部サイトからダウンロードしてくださいとの指示がありました。仕事の関係で研修日の前日となってしまい、ダウンロードしてみたら、練習問題がありテスト問題もあり、これらを理解し回答をしていたら、朝になってしまった。ちょっと戸惑いながら何とか予習を終え、自信を付け張り切って研修会に参加しました。講師は、L吉原稔貴第二副地区ガバナーが行い、講義は予習していたものと別な角度からのもので、肩すかしとなってしまった感がしました。しかし、L吉原の興味を惹くお話で、長時間でしたがテンポ良く進み、飽きずに有意義な勉強ができました。

また、私の勘違いと言うか認識不足と言うか、新クラブへの指導し助言する事を念頭においていたのでしたが、クラブ再建における役割として、衰退しているクラブへの活力活性を促す事なども、公認ガイディングライオンとしての任務だと知りました。

今回の研修会は、クラブ向上プロセスもあり、自分のクラブの活性にも役立つこと、クラブ発展の基礎勉強であつたと言えます。クラブの発展、仲間をもつともっと多く増やす事の勉強でもあつたので、公認ガイディングライオン資格は狭き門との認識であったが、より多くの方が研修することは良い事だと思いました。

また、公認ガイディングライオン研修会は日本他地区では行われていない事を知り、333-C地区が先進的な取組みをしている事、先陣を切つて取り組んだ先輩達の功績は素晴らしい事だと再認識しました。

最後に、L正木守地区ガバナーのご挨拶にありました。クラブを楽しくするため、真心や魂、情熱を入れる事の心得がこの研修会にはあつたと思います。ガバナーをはじめ関係者、講師のL吉原稔貴に感謝を申し上げます。

いち参加者より



公認ガイディングライオンプログラムのテキストは、地区HPや国際協会HPからダウンロードして誰でも読むことが出来る。クラブ運営のヒントをつかむためにも、一読をお勧めする。





クラブエクステンションリポート

クラブエクステンションリポート

333-C 地区 11R 2Z

鴨川雛ライオンズクラブ

（11R 2Z）

新クラブの設立を成すには、スポンサークラブのライオニズムへの理解と新クラブの奉仕活動の目的、どのような奉仕活動を主として行うかを明確にして会員を募る。この二つの条件が一致して始めて速やかな設立を迎えることができるということを、此度の鴨川雛LCの誕生で強く確信することができました。

呼び掛けから約四十日でチャーターイベントを迎えることができた雛LCは、「子育て」をテーマにした会長方針の中に「子供たちを育てる喜び・悩みを共有し希望を与える活動をモットーとする」。このようにクラブACTを明確にしてスタートしたクラブだからこそ、会員の皆

サークラブの設立を成すには、スポンサークラブのライオニズムへの理解と新クラブの奉仕活動の目的、どのような奉

仕活動を主として行うかを明確にして会員を募る。この二つの条件が一致して始めて速やかな設立を迎えることができる

ということを、此度の鴨川雛LCの誕生で強く確信することができました。



私は奉仕を旨とするライオンとして夢があります。今鴨川は親となる鴨川LC、後継者を対象とした女性を対象の雛LC、と3クラブの親子が誕生。後は孫の誕生により鴨川ライオンズは世代交代も万全の奉仕団体になるでしょう。

「レオよ、待つていてくれ！」

さんが同じ価値感をもつて喜びの中にチヤーターナイトを迎えることができたものと思う。そしてそこには地域の教育にかけるスポンサークラブの熱い思いが重なり、誕生への道のりを早め、この寄稿文が誌面に載る頃には既に「子育て」への奉仕活動は本格化されている事でしょう。

私は奉仕を旨とするライオンとして夢があります。今鴨川は親となる鴨川LC、後継者を対象とした女性を対象の雛LC、と3クラブの親子が誕生。後は孫の誕生により鴨川ライオンズは世代交代も万全の奉仕団体になるでしょう。

「レオよ、待つていてくれ！」

ナード、故L竹下徳永自身が結成準備委員長として急逝する直前まで精魂を傾けて取り組み、今回日の目を見たクラブでもある。しかしながら周知の通り、L竹下元ガバナーは急逝され会場にはおられないと。

クラブ名「国府」とは、奈良時代に上総国の国府がこの地に置かれたことに由来する。クラブバナーにデザインされているのはその古代の国府に建立された上総国分寺七重の塔の復元イメージである。63m有ったとされる7重の塔のイメージは、まるで故L竹下元ガバナーの想いが屹立するがごとくである。

認証状伝達式には地区ガバナーL正木守をはじめ、前地区ガバナーL千鶴子、元地区ガバナーL岡野正義をはじめ多くの地区役員が参列し、また、7Rブラザークラブも参加し執り行われた。

地区ガバナーL正木守からは、奉仕活動を積極的に楽しめるクラブを目指して欲しいとのはなむけの言葉があり、前地区ガバナーL長澤千鶴子からも、奉仕の仲間を更に一人でも増やすために更に会員増強を心がけるようとの激励の挨拶があつた。そしてスポンサークラブ会長であるL加島正男よりは故L竹下元ガバナーの想い、そして7リジョンの存亡を掛けたエクステンションであつたとの話が開陳され、故L竹下元ガバナー鎮魂の認証状伝達式は厳肅な雰囲気の内に閉会となつた。L竹下元ガバナーの熱き想いがアクティビティとなつて結実すること

を期待したい。

【文、写真：地区情報委員長 L平野寛明】



会員大交流会 in 333-C

やつてよかつた、 大交流会

8月31日（土）午後、カンデオホテルズ千葉において「世界に発信！会員大交流会 in 333-C」が開催された。

この催しは当初「若手・女性フォーラム」として計画されていたが、年齢や性別の違いを超えた交流を行うべきではないかとの考えを元に、発展的に「大交流会」としたものである。400名を定員として募集を開始したこの行事。先ず前代未聞といえば前代未聞である。キャビネットの開催行事で一番参加人数の多い行事は地区年次大会。次に多いのが第1回と第4回のキャビネット会議。その次に地区年次大会前夜祭と相場が決まっているところへ、年次大会の次に参加者数が多いイベントを立ち上げようというのだから、よく考えれば「大変なこと」である。しかし、運営を取り仕切ったJ密本高志青年アカデミー委員長はじめ、GMT・GLTチームには気負い

は感じられなかつた。恐らく計画書だけではこういった行事の楽しさや意義は表現できないし、現実として、年齢・性別・地区的垣根を越えてライオンが結集したこの交流会はいい意味での化学反応を起こしたと、参加者の一人として実感できたのである。

全ての垣根を越えて

とは言つても蓋を開けるまで心配なものだが、結果300名の参加者を得て盛況の内に開催された。年齢性別もバラバラ。女性の参加者の多さも特徴である。また他地区からの参加者も、330-A（東京）、330-B（神奈川・山梨）、330-C（茨城）、334-A（愛知）、334-B（岐阜・三重）、336-A（愛媛）の7地区から計52名の参加者を得た。関東近県は元より、遠く岐阜や愛媛からも参加があつたことは、

る。ライオンズクラブとは本来そんな団体なのだと想える交流会は、大勢の参加者と共に開催されたのである。

交流会冒頭、ハンブルク国際大会で国際理事となられたばかりのL清水英徳がお忙しい中来賓として見えられ、「和気藹々の内に相互理解と人の絆を結んで、世界に向けてこの333-C地区から熱さを発信して下さい」との挨拶があつた。またL正木地区ガバナーは、各地区とC地区内リジョンを順番に紹介し、参加者はローラで応えて会場を一気に盛り上げ、「楽しんで下さい。何でもいい、再びの出会いを約束して下さい。そして夢と希望を持ち続けるライオンズクラブにしましょう」と参加者に呼びかけて交流の部へと移つた。

友達100人 できるかな？

この催しの案内文には当初より、「名刺を100枚ご持参下さい」とある。交流会の目的は何だと問われれば、





会員大交流会 in 333-C



ガバナーと直接話せる機会はそうそうあるものではない。
参加者も臆せずに自分の考えを述べていた。



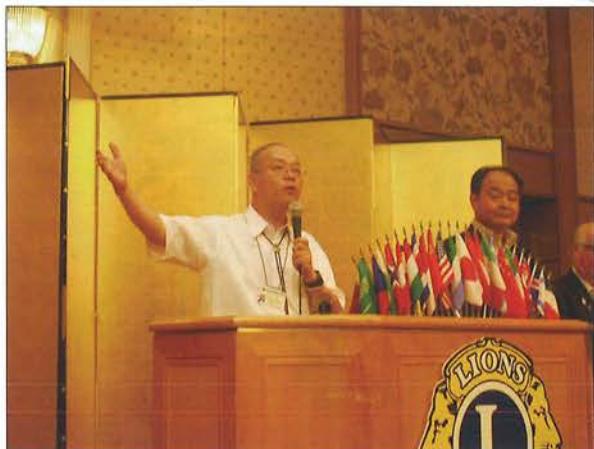
挨拶する L 清水英徳国際理事

至つてシンプル。ライオンズの友達を作ること、なのである。従つてテーブルに着いた時から、先ず基本は名刺交換。そしてディスカッション。このディスカッションも別に身構えるような難しいものではなく、自分たちでテーブルのルールを決めて話し合う。ただし自分の事は「ライオンなになに」と呼び、相手のことは「なになにライオン」と呼ぶ。そしてガバナーが言われた「暗い話はよそう」である。話し合うテーマも一つ目は「この交流会に何を期待しているか?」。最初のディスカッションが終わったら会場中で名刺交換をして次のテーブルへ。次のディスカッションでは「交流会で出会った仲間と

交流していくためには何をするか?」をテーマに、より突っ込んだ人間関係構築のためにディスカッションは進んでいく。ガバナー重点目標にもある通り、メーク・アップも含めて他クラブへの例会訪問が活発になれば・・・これが主催者の狙いである。他リジョンのクラブと、あるいは他地区のクラブへと例会訪問をする。あるいはされる。この約束がどれだけなされたかは不明だが、その端緒にはなったのではないだろうか。話を聞く内に、自分のクラブはどうだろうかと必ず考えたはずなのだ。比較することは考える上で大切なプロセスなのだから。



名刺交換トップは 48枚也



結局、名刺交換のトップは48枚でR2Zゾーン・チエアパーソンのL古河守男でした。みなさんそれぞれ意を決して名刺交換をしていましたが、なれてしまえばお手の物。次回の会員維持フォーラムの頃には、もっとすんなり名刺交換が出来る雰囲気になるのではないかという期待を抱かせる結果でした。

他地区からの参加者を見ていると、フェイスブック等でのつながりが強い

と感じます。彼らのフェイスブックを見てみると、日頃から些細な出来事でもネットに投稿し、仲間達から感想が寄せられています。実際に会う前に友情が芽生えているのです。例会訪問の垣根が格段と低くなるであろうことが想像できるのである。フェイスブックではガバナーとも国際会長とで友達になることが出来る。交流の仕方は千差万別。交友の範囲は、ライオンズであれば無限大なのである。

前出の通り、年齢も性別も地区も乗り越えた、333-C地区初の試みである会員大交流会。最年長は船橋さんかライオンズクラブのL山田登志子92歳。「大勢の皆さんと交流が出来て、こんなに嬉しく光栄な事は他にありません」と話されていたのが印象的だつた。

ライオンズに誇りを

世界に発信! ということで、韓国の民族衣装「チマチョゴリ」を身にまとい会場の視線を一身に集めていたのがL金基英女性会員増強委員長。交流会



交流会を引っ張ったL密本青年アカデミー委員長とL金女性会員増強委員長。お疲れ様でした。





この交流会は、基本的には会員増強の一助となればと企画されたものである。そして日本中のどのクラブでも頭の痛い問題が「会員増強」なのである。解つていながら動けないのも「会員増強」。会員増強の目的はクラブによってまちまちであろう。クラブの維持、アクティビティの維持・・・そこでこう考えはどうだろうか。「ライオンズのメンバーであること自体が人生の財産なのだと」。

次回12月の会員維持フォーラムまでに

どの様な変化があるのかが楽しみな、

交流会第1段でした。



GMT・GLTにお声がけ下さい！

GMTチーム、GLTチームは以下の委員会で構成されています。

クラブ運営で悩んだ時、会員増強でヒントを得たい時は各チームにご相談下さい。
そしてクラブ例会や諮問委員会に是非お誘い下さい。

GMTチーム（グローバル・メンバーシップ・チーム）

コーディネーター：L 斎藤和行

地区EXT委員長：L 庄司辰二郎

地区女性会員増強委員長：L 金 基英

地区会員増強委員長：L 粕谷達郎

地区会員維持委員長：L 高木正平

GLTチーム（グローバル・リーダーシップ・チーム）

コーディネーター：L 若林 一

地区会則委員長：L 大塚恒夫

地区指導力育成委員長：L 林 和意

地区長期計画委員長：L 山村憲一

地区青年アカデミー委員長：L 密本高志



ライオンズ・デー 知つてますか？



ライオンズ奉仕デーに1人1本の植樹を

地区福祉・環境保全委員長 L 田中 茂

統一奉仕デーとは国際協会で定められたライオンズ事業で、全世界のライオンズクラブが、毎年10月8日をライオンズ(奉仕)デー(LionsDay)として、活発なアクティビティを実施している日のことである。

取り組み

- ♣ メンバー1人1本の植樹をお願いします。
- ♣ 333-C地区内全クラブが「統一奉仕デー」として参加する。
- ♣ 日程は10月6日(日)に集中するが、10月に行うアクティビティを各クラブの『統一奉仕デー・アクティビティ』としても良い。
- ♣ ゾーン内合同の取り組みが出来ればなお良い。

※この奉仕事業は第1回キャビネット会議で承認された事業です。

広報・PR活動

各クラブのアクティビティをHPに掲載する。記事をライオン誌に投稿、県内のテレビ局(地域のCATV局含む)、新聞社等に『統一奉仕デー・アクティビティ』の企画及び実施の記事を取り上げていただくよう依頼する。

目的

333-C地区メンバーがライオニズムとライオンズデーを再確認し、奉仕活動を共有する。

各クラブが行っているアクティビティの一つを『統一奉仕デー・アクティビティ』として、10月6日に開催する。

333-C地区では本年10月6日を「統一奉仕デー」として、アクティビティを企画実行する。

企画するアクティビティは福祉・環境保全に関係すればなお良い。

1917年10月8日、アメリカ・テキサス州ダラスにおいて、ライオンズクラブ国際協会最初の国際大会が開催された。このことを記念し、1965年の東洋・東南アジア大会(現東洋・東南アジアフォーラム)でこの日を「ライオンズ・デー」とすることを決議し、1970年には国際理事会で「世界ライオンズ奉仕デー」として認められた。(現在国際協会では「ライオンズ視力デー」としている。)333-C地区では、地区福祉・環境委員会を中心に統一奉仕活動を呼び掛けている。





WE SERVE ! 10.6

333-C 地区

ライオンズ統一奉仕デー





大人も子供も暑い夏！



【写真・文 地区情報委員長 L平野寛明】

夏の青少年アクティビティ

暑い夏に新年度を迎えるライオンズクラブ。いずれのクラブでも多種多様なアクティビティを企画していることだろ

う。キャビネットも例外なく忙しい夏であるが、新年度になつて早速忙しいのが青少年健全育成を担う地区YCE委員会と地区青少年育成・レオ委員会（以下、レオ委員会）である。

YCE委員会にあつては昨年度より、333複合地区主催のYCEサマー・キャンプを行つており、今年度も新潟でのウェルカムパーティを皮切りに、館山夕日海岸ホテルでのキャンプ、東京ディズニーランドと盛りだくさんの予定。

一方のレオ委員会もレオ夏期研修会を、君津市の君津亀山少年自然の家で開催した。今回の夏期研修はレオ地区役員の発案で、L正木ガバナーのお膝元である君津市での開催となつた。サマー・キャンプ、夏期研修会共にL正木ガバナー及びL波木第一副地区ガバナー、L吉原第二副地区ガバナーも参加され、例年ない活況の内に開催された。その両行事をお伝えし、YCEの現状をL金井和久YCE委員長に伺つた。



ライオン・レオが囲んでのキャンプファイヤー（君津亀山少年自然の家）

ライオンズクラブの代表的な青少年健全育成アクティビティプログラムであるYCE（ユースキャンプ＆エクスチエンジ）とレオクラブ。プログラムの存在ぐらいはおおよそのメンバーであれば知つてゐるかもしれないが、その起源となるとどうだろうか？

YCEは以前はYE（ユース・エクスチエンジ）とされていた国際協会の正式なプログラムである。読んで字の如く「青少年交換」を目的とするプログラムであり、各ライオンズクラブがスポンサーとなり15～21歳の青少年を派遣する。受入家庭もライオンズメンバーの家庭か受入クラブが推薦する家庭である。派遣期間は4～6週間であり、夏期・冬期（タイのみ春期）に分かれ、各国で派遣・受入を行つてゐる。その起源は、当時の神戸市のライオンズクラブとアメリカ・カリフォルニア州のライオンズクラブが1959年に行つた「日米夏季学生交換計画」が元

となり、1961年に国際理事会がこの計画を取り上げて正式なプログラムとなつたものである。

またレオクラブであるが、国際協会が1967年に、全世界に一貫した目的と意義を持つ青少年の指導育成を行うためのアクティビティの一つとして制定されたものである。レオ（LEO）は、指導力（Leadership）、経験（Experience）、機会（Opportunity）の頭文字を取つており、レオクラブのメンバーは、アルファレオ（12～18歳）、オメガレオ（18～30歳）で形成される。レオクラブの方針は「地域社会の青少年に指導力、経験、機会を与え、個性豊かな人間に成長させるための奉仕活動を推進する」「会員の間に友情、親善および相互理解の精神を育成する」であり、現在333-1-C地区では8レオクラブがそれぞれの地域で、スポーツサーライオンズクラブおよびレオ顧問の指導の下に活動してゐる。

そもそもYCEとは？レオとは？

9か国のYCE生が
館山に集う

333複合地区

YCEサマーキャンプ

333複合地区では7月25日的新潟県を皮切りに、27日には当333-C地区に移り、東京ディズニーランド。28日～31日までを11リジョンの館山夕日海岸ホテルでYCEサマーキャンプを行った。

333複合地区には合計10カ国より17人のYCE生が来日しているが、このキャンプにはその内、9カ国（メキシコ・フィンランド・オランダ・イタリア・ポーランド・ハンガリー・インド・マレーシア・台湾）16人が参加した。

当地区ではL正木地区ガバナー

をはじめガバナーチーム、L金井夫元地区ガバナーは複合YCE委員長として、L金井和久委員長以下のC地区YCE委員。地元である11リジョンのL伊藤・L田村両ゾーン・チエアパーソンはじめリジョン内各クラブの協力により、館山らしい趣向のサマーキャンプとなつた。館山でのレクリエーションではマリンスポーツ・地引き網等を楽しんだほか、房州伝統の「房州団扇」の製作体験や座禅の体験等文化面での交流も織り交ぜられた3泊4日となつた。

YCE生はそれぞれ夏のひとときを思う存分楽しんでいるが、様々な国籍、文化的背景をもった青少年を受け入れるのは大変なストレスもある。333-C地区ではキャビネット役員や地元リジョンのメンバーだけではなく、YCEのOB生やレオクラブメンバーも協力し、万端の体制でのサマーキャンプである。



青春のひとときを日本・館山で。来日生はワクワク、受入側はハラハラの1週間



機会(Opportunity)を体験する夏

期研修会



子供達に「非日常」を体験させる

レオ活動の眼目、というよりも既に紹介したとおり文字通り頭文字である「指導力」、「経験」を養成する「機会」を子供達に与えるべく、レオ委員会では毎年夏期研修を行っている。

まさに「酷暑」といっていい天候であった8月10日～11日。333-C地区レオ夏期研修会が、君津市の県立君津亀山少年自然の家で開催された。参加したレオクラブは、船橋中央・横の木・銚子中央・銚子コスモポリタン・君津の5レオクラブ。参加者はレオメンバー計29名。他にガバナーチーム以下キヤビネット構成員等の面々やレオ顧問等賑やかな顔ぶれである。

「児童、青少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もつて健全な少年の育成を図ること」が少年自然の家の目的であるので、L正木地区ガバナーが開会式で挨拶されたとおり、最近まで携帯電話の電波も入らず、ネオンサインも見えなければジユースの自動販売機さえ無い。当然ながら引率のライオンも夜の晚酌さえ出来ない環境で、今年の夏期研修は開催されたのである。研修施設であるから布団の上げ下ろしからたたみ方、果ては折り日の向きまで職員からの懇切丁寧な指導。夕食はカレーの自炊だが、これもレオ・ライオン混成

の班別で、薪割りに始まり釜戸での火おこし、材料の準備から飯ごう炊飯と日頃行つたことの無い事ばかり。参加者は小学生から社会人までの幅広い年齢層なので、ナタの使い方からマッチの擦り方まで、年長のレオが指導することは毎年夏期研修を行つている。

レオは小学生から社会人までの幅広い年齢層なので、ナタの使い方からマッチの擦り方まで、年長のレオが指導することもある。ガバナー直々に火おこしを指導する班など、ライオンもレオもそれぞれ指導力を發揮し、三者三様のカレトライスを仕上げて平らげていた。片付けも徹底したもので、25年間使い続けられているといふ鍋に至っては、少しでも黄ばみや黒ずみがあれば職員から突き返される。30分鍋を金ダワシで擦り続けたあぐくに7回突き返され、終いにレオが綺麗に拭きあげて面目を施した内局員がいたことも記しておく。また、夜のキャンプファイヤーもLEO阿部紗弓レオ地区会長の意欲的な先導により、忘れられない思い出深いものとなつた。

この手の青少年事業はボーキスカウトなど他にも確かにある。しかし総じて社会にそういうた事業が増えればいいのであるから、ライオンズがレオ事業を行うことにも大きな意味がある。また、これから若いメンバーを増やそうとするライオンズクラブならば、レオのエクステンションも視野に入れるべきだろう。参



【文・写真 地区情報委員長 L平野寛明】

加して初めて解ることだが、レオアクトイビティを行うことによって、その年健全育成の一策として、レオクラブを体験してみてはどうだろうか?そして温かく見守つていただきたい。

現在333-C地区にあるレオクラブは全部で8クラブ。それぞれのクラブの設立背景も、雰囲気も当然異なる。青少年の育成には忍耐が必要である。直接レオと関係の無いクラブも、青少年健全育成の一策として、レオクラブを体験してみてはどうだろうか?そして温かく見守つていただきたい。



指導力(Leadership) 経験(Experience)

333-C
地 区

レオ夏

夏季研修に参加して

船橋中央レオクラブ
LEO 新井 静流

私は今回この研修を通して、普段接することのない小学生と接することで多くのことを学びました。

まず、子供たちはきちんと考え方を持て行動しているということです。

初対面で緊張している子も、カレー作りのときに声がけをすることで積極的に手伝いをしてくれました。また、自

分から「こうしたい!」と言ってくれる子もいたので作業がスムーズに進みました。私や他のレオでは不十分なところはライオンの皆さん方がフォローして下さったので大きな怪我や事故を起こすことなく終えられました。

二日目の清掃活動では、子供たちのたくましさを見たような気がしました。最初はビルに怖がってなかなか動けないでいる子もいましたが、最終的にはみんな森の奥にどんどん入つて行き、自分の体の2倍近くある大きさの大木を引きずっている姿を見て、とても頼もしく感じました。最終的にビルの餌食になつたのは二人とも大人のレオだったので(被害者が出ないに越したことはないのですが)子供たちに被害がなくてよかったです。

この1泊2日を通して私が学んだことは「大人たちのやるべきことは子供を引っ張っていくことだけではなく、

時には静かに見守ることも必要である」ということです。今回学んだことを生かしてこれから生活していきたいと思います。

企画・運営してくれた阿部レオ、サポートしてくださいましたライオンの皆様、いい体験を本当にありがとうございました。

地区レオ夏期研修を終えて

君津レオクラブ
LEO 石井 亜実

私は、今回が2度目の夏期研修でした。ここ、君津亀山少年自然の家の宿泊は初めてのこと

で、中学生以降行つていなかつた自然の家でした。この研修ではとても楽しい1泊2日を送ることができました。特に夕食のカレー作りでは、初めて顔を合わせた子供たち、また同世代の方からライオンズクラブの皆さんとクループをつくり、仲間になり、協力し合つてカレーを作ることができました。食材を配り、各自で切り分け、薪を割るとこから火を起こすことを少しづつ体験し、使った道具を「使う前より綺麗に」と、一生懸命に洗い上げることができとても楽しかつたです。また、小学生たちと一緒にお風呂に入つて同じ部屋で寝て、10時に就寝するという、家ではありません



体験することのない経験をすることができました。また2つ目に、森の清掃では、ビルと戦い、ビルを初めて見て、自然の暑さを実感しながら楽しみながら葉や木を集めることができよかったです。

今回の研修では、初めてお会いするレオがとても多くて新鮮でした。今後も活動を通して、彼らと交流をはかることができる、レオクラブ活性に繋がりました。

YCEの現状と展望

ライオンズクラブの代表的なアクティビティであるYCE。その意義や重要性は誰もが認めるところだが、一方でYCEの派遣や受け入れをしたことの無いクラブも存在する。今回は地区YCE委員長のし
金井和久に、その現状と展望をお聞きする。

平野 サマー・キャンプお疲れ様でした。夏期の派遣、受け入れともに未だ帰国していないYCE生がいる様ですが、キャンプが終わって一息ですね。

金井 いやいや、早速冬期派遣生の選考会も行っていますので、なかなか息つく暇がありません。

平野 今回私も初めてサマー・キャンプに参加しまして、本当に大変だと、率直に思いました。YCE委員だけ任期が8月いっぱい有るのも領けます。

金井 そうですね。7月に新年度が始まつて直ぐに夏期のYCEが始まりますから、やはりYCE委員は任期二年で8月末まで務めないと厳しいですね。

平野 派遣、受け入れ共にあるわけですからね。早速ですが、夏期の派遣並びに受け入れの人数は何人でしょう?

金井 当地区ですと、派遣が10名、受

け入れが6名です。派遣先は、アメリカ・オーストラリア・シンガポール・

マレーシアです。来日生の国籍は、メキシコ・イタリア・ハンガリー・ポーランド・スペインです。派遣期間は2週間から4週間。年齢は16歳～21歳となっています。

平野 派遣についてですが、基本的にYCEは観光旅行ではないわけで、添乗員も付かずに、1人で受入家庭に世話をなる。色々準備も必要だと思うし、派遣生もその親御さんも心配されますよね?

金井 派遣生に関しては、派遣されるまでに6回、オリエンテーションを受けています。渡航手続きや通関。それに毎会必ず1時間半、英会話のレッスンも行っています。

平野 16歳～21歳と年齢の幅も広いし、語学力も当然個人差がある。英語

が流暢でないと派遣生は厳しいですか?

金井 オリエンテーションもさることながら、やはり子供達のコミュニケーション能力はたいしたもので、選考段階では語学力に少し問題があるかな?という子でも、派遣当初はまごついても、最終的には困らない程度にコミュニケーションが取れるようになつて帰国してきます。過去に、語学やコミュニケーションで問題になつたことはありません。

平野 費用は本人が負担するのか?

金井 基本的にはそうですが、派遣元のクラブが助成したり、リジョンで助成金を出している例もあります。

平野 受け入れについてですが、受入家庭については、何か規定はありますか?

金井 受け入れクラブが推薦する家庭であれば特にありません。ライオンズのメンバーの家庭でなくとも可能ですね。

平野 やはりこの場合も語学力が気になるのですが、英語は必要ですか?

金井 受入家庭の方が英語を話せるにこしたことはないですが、必須ではありません。語学の問題よりも、家族の





一員として親しく受け入れてあげることが重要です。観光で来ているのではありませんから、英語が話せる家庭でありますとか、ホテルのようなおもてなしが必要ということはあります。

平野 受入期間はどれくらいですか？

金井 滞在期間はおよそ4週間となります。これを前期と後期に分けて、基本的には2週間ずつ、2家庭で1人のYCE生を受け入れていただきます。

可能であれば、4週間を1家庭で受け入れていただいてもかまいません。

平野 人様の子供を預かるのですから、万が一の場合の責任問題なども気になりますが。

金井 派遣生の親が必ず「賠償免責承諾書」に署名をして来日します。YCE生が不幸にも、怪我をしたり死亡したとしても、受入家庭やライオンズクラブが法的責任を問われたり、金銭的

が、基本的にそれはその通りです。

平野 しかし、派遣・受け入れ共に昔と思うと減っていますね？

金井 我々の先輩が委員をしていた頃は、30名以上派遣という年もあつたそうですから確かに減っていますね。

平野 それは大変寂しいことですが、何が原因だと考えられますか？

金井 金銭的負担もさることながら、選考過程に問題があると思います。YCEが盛んな頃の派遣生というのは、ラブ

平野 せっかく素晴らしいプログラムがあり、世界中のライオンズが派遣生を待っているのですから、是非とも増やしていきたいですね。

金井 派遣生を空港まで迎えに行くと、明らかに表情が変わります。暗かったお子さんが明るくなつて帰国されたり、様々な意味でたくましくなつて日本に帰ってきますね。

平野 素晴らしいですね。最後に各クラブに委員会として要望があればどうぞ。

補償を要求されることはありません。これは日本から派遣する場合も同じ事です。派遣生にも注意しています。

平野 外地に行くのですから慢心は禁物ですが、受入家庭はライオンズメンバーか、その推薦する家庭ですから、そういう意味では安心感はあります。

金井 不幸にして事故は起りますが、基本的にそれはその通りです。

平野 サマー・キャンプで、各国の若者が積極的に自分たちの母国を説明していました。あの瞬間を見ただけでも、継続しなければならないアクティビティだと、誰でも感じられます。興味があればサマー・キャンプを見学されることは如何でしょうか？

本日はありがとうございました。

金井 YCEは、体験すればするほど素晴らしいアクティビティだと解ります。それなのに、派遣・受け入れ共に減っているのは大変悲しいことです。各クラブには是非、メンバーだけではなく広く地域に呼びかけて、派遣生および受入家庭をご推薦ください。また、金銭面の助成も大変かとは思いますが、併せて考えていただければ助かります。

平野 サマー・キャンプで、各国の若者が積極的に自分たちの母国を説明していました。あの瞬間を見ただけでも、継続しなければならないアクティビティだと、誰でも感じられます。興味があればサマー・キャンプを見学されては如何でしょうか？

本日はありがとうございました。

【聞き手・写真 地区情報委員長 L平野寛】

第1回キャビネット会議報告

文 キャビネット副幹事 L平野寛明
【写真 地区情報委員 L鈴木高大】

2013年8月3日（土）、木更津市のロイヤルヒルズ木更津ビューホテルにおいて第1回キャビネット会議が開催された。正木体制となつて初の地区公式行事であり、キャビネット構成員等全てがうち揃つた盛大な会議となつた。

会議は冒頭よりガバナーの熱のこもった挨拶で始まり、終始正木カラーノ内に進められた。特にガバナー重点目標5項目については、各項目についての意図と自身の思いが正確に伝わるよう丁寧に説明しているのが印象的であつた。まさに「美しい村」に向かつての羅針盤が、重点5項目なのである。また中盤では、病苦を押して地区運

営に当たられたし長澤千鶴子前地区ガバナー並びに前年度キャビネット幹事のし吉野みどり、前年度キャビネット会計のし根本静雄に感謝状と記念品を贈呈し、その功績を称えられました。

そしてその後にし波木奏美第一副地区ガバナー並びにし吉原稔貴第二副地区ガバナーに国際会長よりピンバッヂを贈呈し、ガバナーチームの連帯感を示しました。

- 議事規則の採決及び議事運営委員任命
- 前年度会計決算報告
- 会計監査報告・承認
- ガバナー提出議案

表しました。

なお、会議での議決事項は左記の通り。

（家族会員0円）の拠出とする。
4. LCIIFへの協力依頼について
5. 世界ライオンズ奉仕デーについて
6. 333-IC地区年次大会
日程期日：2014年4月20日
(日)

場所：かずさアカデミアホール
(木更津市)

1. 地区会計監査委員の委嘱について
2. キャビネット会計の業務執行に伴う担保提出免除について
3. YCE、ライオンズクエスト、レオ青少年健全育成活動支援を目的とする青少年育成資金として、
7. キャビネット会議及び附属会議及び議事規則について
8. 本年度旅費規程・慶弔規定について
9. 本年度の地区大会アワード規定

■本年度地区予算案審議について

以上、全て原案通り承認可決





森田千葉県知事を 表敬訪問

地区ガバナーL正木守は、内局全員と地区大会委員長L松田芳己と共に平成25年7月24日午後1時に千葉県庁を訪れ、森田健作千葉県知事にガバナー就任による表敬訪問を行いました。

L正木守地区ガバナーは、7月5日より行われた国際大会（ドイツ・ハンブルク）でガバナーに就任し、この日、森田知事への就任挨拶を行い、この1年間のガバナー目標、ライオンズクラブのモットーであるウイサーブの意味やライオンズクエストなどについて話しました。



【文 地区広報委員長 L斎藤敏夫】

への深い認識があり、「青少年の非行問題の対策など皆さんと一緒に解決方法を検討しましょう」との旨の発言があり、更にはかつての青春ドラマ出演などの話にも及び、歓談しながら有意義な訪問となりました。



熱き想いを語る L 正木守地区ガバナー



議案説明をする L 梶尾利徳キャビネット幹事



333-C 地区キャビネット構成員等名簿

No.	役 職	L 名	No.	役 職	L 名
74	地区 LCIF・国際(協調・大会参加) 副委員長	大森 正昭	109	地区ライオンズクエスト委員	広瀬 直樹
75	地区 YCE 副委員長 (11 R 兼務)	吉野 節子	110	地区ライオンズクエスト委員	中兼 已信
76	地区青少年育成・レオ副委員長	植草 博信	111	地区ライオンズクエスト委員	嶋田 相一
77	地区ライオンズクエスト副委員長	中村 浩一	112	地区ライオンズクエスト委員	栗本 昭
78	地区献血・献眼・献腎推進副委員長	石毛 直美	113	地区運営特別委員	富田 武
79	地区福祉・環境保全副委員長	木村 英俊	114	地区会計監査委員	桑原 賢治
80	地区 ALERT 副委員長	内山 敦子	115	地区会計監査委員	福島 真知世
81	地区 ALERT 副委員長	青木 明子	116	地区年次大会委員長	松田 芳己
82	地区運営特別副委員長	根本 静男	117	地区年次大会事務局長	保科 嘉彦
別掲	地区情報 (PR・IT) 委員 (1 R)	杉山 民生	118	地区年次大会事務局次長	安藤 浩二
83	地区情報 (PR・IT) 委員 (2 R)	吉岡 稔隆	119	地区年次大会顧問	石井 三郎
84	地区情報 (PR・IT) 委員 (3 R)	櫻田慎太郎	120	地区年次大会顧問	島野 光司
85	地区情報 (PR・IT) 委員 (4 R)	小柳 正和	121	地区年次大会副委員長	江尻 吉郎
86	地区情報 (PR・IT) 委員 (5 R)	比良田裕二	122	地区年次大会副委員長	山村 良子
87	地区情報 (PR・IT) 委員 (6 R)	臼井 正一	123	地区年次大会副委員長	前田 純夫
88	地区情報 (PR・IT) 委員 (7 R)	塚本 利政	124	地区年次大会副委員長	行方 誠
89	地区情報 (PR・IT) 委員 (8 R)	保足 勝己	125	地区年次大会副委員長	鹿島 清太郎
90	地区情報 (PR・IT) 委員 (9 R)	滝田 靖	126	地区年次大会副委員長	鈴木 和彥
91	地区情報 (PR・IT) 委員 (10 R)	鈴木 高大	127	地区年次大会副委員長	坂井 史明
92	地区情報 (PR・IT) 委員 (11 R)	佐藤 則泰	128	地区年次大会副委員長	石井 昭平
93	地区情報 (PR・IT) 委員 (12 R)	蕨 広徳	129	地区年次大会副委員長	地引 正
94	地区 LCIF・国際(協調・大会参加) 委員	石垣 榮一	130	キャビネット副幹事 (総務委員長)	石川 元康
95	地区 YCE 委員 (1 R)	徳岡 めぐみ	131	キャビネット副幹事 (運営委員長)	高橋 啓二
96	地区 YCE 委員 (2 R)	湯浅 隆	132	キャビネット副幹事 (企画委員長)	佐藤 重兼
97	地区 YCE 委員 (3 R)	細田 博夫	別掲	キャビネット副幹事 (情報委員長)	平野 寛明
98	地区 YCE 委員 (4 R)	山下 倫彦	133	キャビネット副幹事 (広報委員長)	斎藤 敏夫
99	地区 YCE 委員 (5 R)	藤田 仁志	134	キャビネット副会計 (財務委員長)	大瀧 勝明
100	地区 YCE 委員 (6 R)	黒川 利夫	135	キャビネット副会計 (クラブ財政委員長)	大澤 久仁子
101	地区 YCE 委員 (7 R)	西村 和男	136	8/31迄 地区YCE委員	伊藤 福榮
102	地区 YCE 委員 (8 R)	林 宏樹	137	8/31迄 地区YCE委員	長田 弘一
103	地区 YCE 委員 (9 R)	椎名 重基	138	8/31迄 地区YCE委員	鈴木 謙子
104	地区 YCE 委員 (10 R)	鈴木庸夫	139	8/31迄 地区YCE委員	増田 獣
別掲	地区 YCE 委員 (11 R)	吉野 節子	140	8/31迄 地区YCE委員	梶尾 武司
105	地区 YCE 委員 (12 R)	榎田 輝男			
106	地区青少年育成・レオ委員	高橋 芳夫			
107	地区青少年育成・レオ委員	角河 博文			
108	地区青少年育成・レオ委員	新井 英仁			



333-C 地区キャビネット構成員等名簿

No.	役 職	L 名
1	地区ガバナー・LCIF 地区コーディネーター	正木 守
2	元国際理事	後藤 隆一
3	前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長	長澤 千鶴子
4	第一副地区ガバナー	波木 奏美
5	第二副地区ガバナー	吉原 稔貴
6	地区名誉顧問・元地区ガバナー	斎藤 貞雄
7	地区名誉顧問・元地区ガバナー	秋場 寛
8	地区名誉顧問・元地区ガバナー	長島 耕
9	地区名誉顧問・元地区ガバナー	吉田 政勝
10	地区名誉顧問・元地区ガバナー	江畑 耕作
11	地区名誉顧問・元地区ガバナー	林静 誠
12	地区名誉顧問・元地区ガバナー	浮谷 俊行
13	地区名誉顧問・元地区ガバナー	笠本 瞭
14	地区名誉顧問・元地区ガバナー	岡野 正義
15	地区名誉顧問・元地区ガバナー	木下 務
別掲	地区名誉顧問・元地区ガバナー	後藤 隆一
16	地区名誉顧問・元地区ガバナー	飯塚 信一
17	地区名誉顧問・元地区ガバナー	内田 千尋
18	地区名誉顧問・元地区ガバナー	林 譲
19	地区名誉顧問・元地区ガバナー	皆川 春安
20	地区名誉顧問・元地区ガバナー	霜 禮次郎
21	地区名誉顧問・元地区ガバナー	小西 宗仁
22	地区名誉顧問・元地区ガバナー	塚田 雅二
23	地区名誉顧問・元地区ガバナー	高田 浩
24	地区名誉顧問・元地区ガバナー	金井 一夫
25	キャビネット幹事	梶尾 利徳
26	キャビネット会計	牧野 稔
27	1R 1Z ゾーン・チアパーソン	成島 龍也
28	1R 2Z ゾーン・チアパーソン	古河 守男
29	2R 1Z ゾーン・チアパーソン	岩橋 明
30	2R 2Z ゾーン・チアパーソン	水野 武明
31	3R 1Z ゾーン・チアパーソン	川村 和伸
32	3R 2Z ゾーン・チアパーソン	松丸 尚
33	4R 1Z ゾーン・チアパーソン	藤原 宏高
34	4R 2Z ゾーン・チアパーソン	林 弘行
35	5R 1Z ゾーン・チアパーソン	石原 孝志
36	5R 2Z ゾーン・チアパーソン	佐藤 英世

No.	役 職	L 名
37	6R 1Z ゾーン・チアパーソン	嶋田 建弘
38	6R 2Z ゾーン・チアパーソン	町田 和義
39	7R 1Z ゾーン・チアパーソン	山本 坤女
40	7R 2Z ゾーン・チアパーソン	竹下 恵子
41	8R 1Z ゾーン・チアパーソン	御園生 浩士
42	8R 2Z ゾーン・チアパーソン	宍倉昌子
43	8R 3Z ゾーン・チアパーソン	中澤寛義
44	9R 1Z ゾーン・チアパーソン	石田泰紀
45	9R 2Z ゾーン・チアパーソン	飯塚丈夫
46	9R 3Z ゾーン・チアパーソン	宮應 利幸
47	10R 1Z ゾーン・チアパーソン	栗田秀美
48	10R 2Z ゾーン・チアパーソン	竹内廣一
49	11R 1Z ゾーン・チアパーソン	伊藤領英
50	11R 2Z ゾーン・チアパーソン	田村貞夫
51	12R 1Z ゾーン・チアパーソン	佐瀬 晃
52	12R 2Z ゾーン・チアパーソン	伊藤正昭
53	地区GMTコーディネーター	斎藤和行
54	地区GLTコーディネーター	若林 一
55	地区EXT委員長	庄司辰二郎
56	地区会員増強委員長	粕谷達郎
57	地区女性会員増強委員長	金 基英
58	地区会員維持委員長	高木正平
59	地区会則委員長	大塚恒夫
60	地区長期計画委員長	山村憲一
61	地区指導力育成委員長	林 和意
62	地区青年アカデミー(会員交流)委員長	密本高志
63	地区情報(PR・IT)委員長	平野寛明
64	地区LCIF・国際(協調・大会参加)委員長	高木次雄
65	地区YCE委員長	金井和久
66	地区青少年育成・レオ委員長	石橋伸彦
67	地区ライオンズクラブエスト委員長	橋爪雅子
68	地区献血・献眼・献腎推進委員長	萱野孝一
69	地区福祉・環境保全委員長	田中 茂
70	地区ALERT委員長	松本宰史
71	地区運営特別委員長	吉野みどり
72	地区LCIF・国際(協調・大会参加)副委員長	高橋昌男
73	地区情報(PR・IT)副委員長(1R兼務)	杉山民生



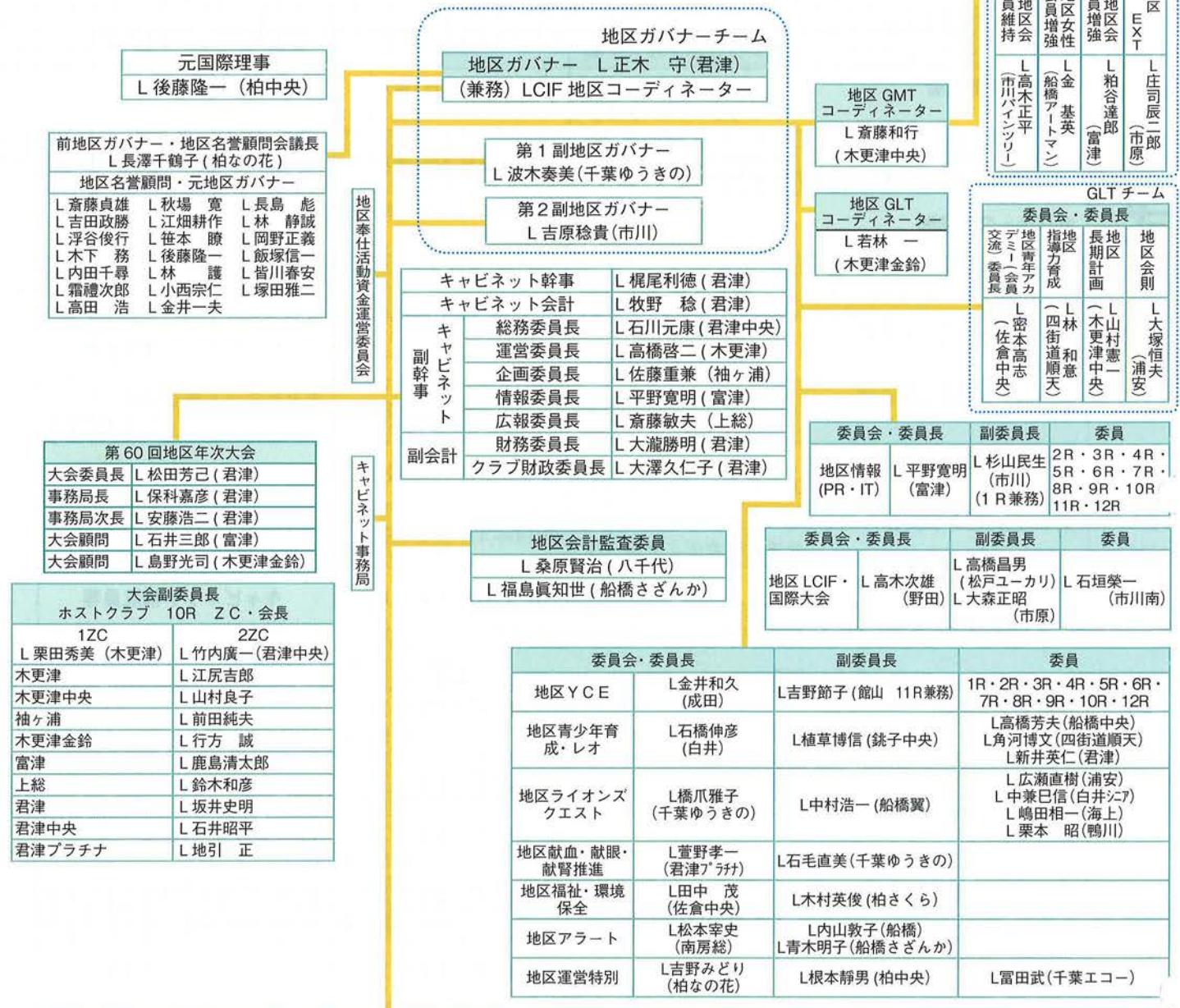
333-C 地区クラブ三役名簿

R	Z	クラブ名	会長	幹事	会計
1	1	市川	田島 雅子	小川 一男	安田 尚義
		市川東◇	松丸 隆	阿部 稔	熊田 次男
		市川北	本村 節子	森 希成	田口 英樹
		市川パインツリー	林 淑恵	斎藤 幸枝	吉田 美恵子
		市川カロテイアーズニア	大辻 康允	石川 守也	山本 小信
	2	浦安	飯盛 保之	金子 康行	吉田 賢太郎
		行徳	佐藤 孝史	井上 克廣	本部 勇
		浦安シーサイド	高津 光晴	佐藤 義幸	坂本 健
		浦安中央	岡島 誠次	関 喜和	榎本 昌之
		行徳リバーサイド	間藤 悟	大芝 久明	日比 勇
2	1	市川南	後藤 香	長谷川美左男	浅田 寛
		松戸	戸橋 惟皓	高橋 卓志	大原 幸作
		松戸中央	高安 京子	植木 真澄	杉浦 孝夫
		松戸ユーカリ	田居 照康	樺田 武人	高松 清幸
		松戸南	島田 一男	堀内 茂希	千葉 慎治
	2	松戸グリーン	石井 博重	杉浦 誠一	大平 雅弘
		松戸みどり	中島 貞江	芳田 有加里	木村 紀子
		流山	関口 和恵	野能 孝真	上原 良子
		松戸東	鈴木 辰之	箕輪 信治	紺野 淳志
		野田	小林 利生	森川 文明	山崎 均
3	1	関宿	岩本 峰正	森山 悅夫	戸林 隆賀
		流山シニア	荒井 健治	大塚 貞夫	斎藤 芳子
		柏	山田 敬助	後藤 慎次郎	松丸 憲治
		我孫子	松下 勤	幕内 誠	渋谷 栄代
		印西	小幡 和男	海老原 学	中澤 俊介
	2	柏崎	石原 洋司	和田 正孝	木村 英俊
		柏みどり	坂本 裕子	中川 すみ子	永岡 紀子
		柏レインボー	望月 桜華	高橋 浩二	根本 和雄
		柏中央	大田 英隆	根岸 豊森	信悟
		柏沼南	渡来 世志雄	岡田 智章	永田 浩二
4	1	柏グリーン◇	山本 文雄	岡田 敏秀	追木 久男
		柏オーナーク	高橋 稔	伊澤 幸雄	高泉 陽一
		柏なの花	吉野 みどり	大木 悅子	小山 恵子
		柏創生	藤原 健二	清水 武史	平井 隆元
		柏悠遊シニア	松戸 良一	戸塚 幸男	金子 律子
	2	船橋	大貫 秀一	志村 光永	瀧口 剛
		船橋中央◇	芳林 聖敏	山崎 恭裕	鶴巻 裕士
		船橋ポート	小石 稔	渡辺 賢	田嶋 俊一
		船橋グリーン	内藤 正一	波切 実	斎藤 達也
		船橋東	宮口 建二	伊藤 美博	佐々木 昭敏
5	1	船橋京葉	窪田 雄二	河田 勝正	林 敏子
		船橋さざんか	豊岡 悅峰	小林 洋子	広浜 利恵
		船橋シニア	小鶴 廣次	田 中 稔	西尾 勇
		船橋翼	花澤 重人	中田 智弘	山鹿 浩
		鎌ヶ谷	永見 八紘	藤田 次男	森 一夫
	2	船橋北	秋山 清	川 上 勇	加納 順一
		白井	日色 進	大久保 旬	長瀬 正久
		船橋アートマン	鈴木 義明	福原 光重	野崎 靖子
		白井シニア	小林 博	横山 久雅子	釜原 紘一
		鎌ヶ谷飛翔◇	殿原 雅之	小林 正和	斎藤 亘
6	1	白井あすなろ	飛田 宏紀	山口 英一	山崎 勝子
		習志野央	重 壮則	瀧本 和男	新澤 真美
		八千代有馬	淳 谷 口 亨	秋吉 恵藏	
		習志野中央	田中 真太郎	佐藤 錦也	矢崎 勝彦
		八千代東◇	河野 慎一	宮本 重則	内藤 和夫
	2	八千代中央	山口 博成	有村 大	八島 昌晃
		千葉大演	洋一	中尾 弘	渡辺 弘一
		千葉中央	伊藤 俊介	松本 昌也	石橋 秀樹
		千葉幕張メッセ	久保 忠博	吉岡 正夫	宍倉 龍子
		千葉グリーン	花澤 裕介	佐々木 康人	松村 勝津子
7	1	千葉ネオ	太田 宏章	植草 毅	相馬 昌道
		千葉花見川	鈴木 晴夫	大木 義昭	本庄谷和香子
		千葉東蛭田	隆 麻生	紀雄	伊藤 浩昭
		千葉エコー	新井 貞男	大川 忠夫	鈴木 重昭
		千葉京葉	闇澤 年男	徳吉 完	石濱 喜充
	2	千葉若潮	安藤 雅敬	佐々木 淳一	渡邊 昌秀
		千葉ポート	天野 行雄	安倍 正二	山崎 和
		千葉ゆうきの	岩本 朝子	橋爪 雅子	古谷 晴美
		市原	宮原 秀行	倉 永 富男	竹 内 昭治
		市原コスマス	鈴木 悠紀子	丸 勇治	柳澤 秀明
8	1	市原グリーン	保坂 史葉	山口 正子	稻毛 美智子
		市原かずさ	征矢 孝	潤間 孝明	上田 博之
		市原南	加島 正男	星野 鴻一	田中 義昭
	2	市原東	山崎 昭一	間所 敏男	川島 仁内
		市原さくら	鈴木 諒子	田中 敏子	桑田 尚子
		市原国府	倉 益 稔	中村 昭雄	蔭山 陽子

R	Z	クラブ名	会長	幹事	会計
1	1	成田	石井 尚嘉	大泉 正昭	石井 宏尚
		酒々井	大木 保夫	門脇 尚樹	高須賀辰之助
		成田グリーン	荒木 博	ト部 哲也	藤崎 秀樹
		成田平成	斎藤 正信	藤ヶ崎 誠	菅 華司
		富里	三橋 真一	萱島 修平	水 橋 等
	2	下総	椎名 清	東郷 成通	大竹 勝
		栄町	大木 秀夫	小川 武彦	大野 徹夫
		成田エアポート	泉水 良友	石井 久	西 藤 保
		佐倉	伊藤 昌弘	林 孝至	夏 海 優
		八街	高嶋 五月雄	川村 収	田邊 照夫
2	1	佐倉中央	小菅 耕二	富弥 芳男	鈴木 荘六
		佐倉中央	村山 秀明	田 中 茂	山下 良英
		佐倉むらさき	寺田 光子	井野口 綾子	三橋 由美
		四街道	花島 裕治	花島 和伸	眞鍋 恭一
		四街道中央	高烟 寛行	岡田 哲明	菱谷 誠二
	2	四街道ユーハイ	戸田 由紀子	斎藤 耀一	鈴木 省司
		四街道順天◇	須藤 充義	平松 修實	林 和意
		八街北総	柏谷 正五郎	大須 賀量二	加藤 一
		神津島	浜川 謙夫	畠本 俊和	磯部 充喜
		跳子	木内 嘉津央	金島 秀樹	高根 隆幸
3	1	佐原	文山 吉克	坂本 一司	佐藤 明
		東庄	山下 秀文	閑 亮	宇井 秀雄
		神崎	成毛 恒雄	椿 勇	池上 真人
		銚子中央◇◇	斎藤 真一	篠 欣克	石毛 和夫
		小見川	岩立 幹雄	栗田 元一	鎌形 勝美
	2	八日市場	宇井 武夫	高橋 琥瑛	加瀬 貞明
		総武中	原田 進吾	五木田 正巳	鵜沢 高志
		多古	石井 公行	平山 均	佐藤 重雅
		大栗	山倉 等	飯 笹 雄次	宮崎 一仁
		光源	佐藤 昇	高橋 一哲	石橋 敏
4	1	光旭	椎名 正義	加瀬 正義	林 政利
		飯岡	齊藤 広一	黒須 洋一	
		干潟	鷲田 隆嗣	守部 幸一	仲條 一夫
		山田町	花香 完治	鎌木 隆定	高野 幸夫
		海上	林 要助	鈴木 和彦	大宮 正夫
	2	滑川	滑川 清太郎	平野 拓歩	大根 美恵子
		鍵子ウェストポート	宮崎 克良	町田 謙	宮内 勝
		鍵子ローヤル	宮内 輝男	石上 允康	青柳 道康
		木更津	江尻 吉郎	萩原 順利	久保田 悟
		木更津中央	山村 良子	武藤 義彦	門和子
5	1	袖ヶ浦	前田 純夫	小野 嘉春	平良 登
		木更津金鈴	行方 誠	若林 とみ枝	行方 みどり
		富津	鹿島 清太郎	森田 久	岡村 理
		上総	鈴木 和彦	上荒磯 宏光	齋藤 八衛
		君津◇	坂井 史明	吉田 哲也	谷口 雅史
	2	君津中央	石井 昭平	岡村 喜良	池田 敏
		君津プラチナ	地引 正	山中 政人	片岡 弘美
		館山	平嶋 守道	山口 嘉明	伏原 由美
		館山中央	酒井 伸一	秋山 貴	小磯 竜一
		館山南房	黒川 利也	三平 孝行	浅沼 孝司
6	1	南房	石川 良和	寺島 勉	井澤 一昭
		鴨川	黒木 道寛	岩瀬 清高	佐藤 和則
		房州朝夷	早川 金光	鈴木 俊夫	石井 茂一
		房総勝浦	高橋 建二	小高 左起子	諸坂 慎一
		夷隅	中村 康一郎	磯野 富男	渡辺 敏男
	2	鴨川難	君塚 和子	浅野 和子	吉原 里夏
		茂原	田野 正明	生松 義久	吉田 時行
		上総一宮	中川 都弘	吉野 健史	岡本 成志
		茂原長生	角田 武男	磯部 純一	斎藤 正幸
		白子	上代 雅之	大野 俊弘	君塚 弐
7	1	茂原中央	田村 光	齊藤 晃	小出 龍吾
		東金	一之森 正	霞 和惠	井深 敏和
		綱白里	町田 鉄嗣	小倉 利昭	森 延司
		九十九里	古川 義一	鈴木 清	石橋 孝夫
		山武	高橋 忠	長谷川 孝一	堀江 孝典
	2	千葉九十九里ひまわり	中村 静江	前嶋 里奈	矢野 律子
		茂原	宮原 秀行	倉 永 富男	竹 内 昭治
		上総	大川 駿也	吉野 健史	岡本 成志
		茂原長生	柳澤 秀明	磯部 純一	斎藤 正幸
		白子	上代 雅之	大野 俊弘	君塚 弐
8	1	白子	田村 正	齊藤 晃	小出 龍吾
		東金	一之森 正	霞 和惠	井深 敏和
		綱白里	町田 鉄嗣	小倉 利昭	森 延司
		九十九里	古川 義一	鈴木 清	石橋 孝夫
		山武	高橋 忠	長谷川 孝一	堀江 孝典
	2	千葉九十九里ひまわり	中村 静江	前嶋 里奈	矢野 律子
		茂原	宮原 秀行	倉 永 富男	竹 内 昭治
		上総	大川 駿也	吉野 健史	岡本 成志
		茂原長生	柳澤 秀明	磯部 純一	斎藤 正幸
		白子	上代 雅之	大野 俊弘	君塚 弐
9	1	白子	田村 正	齊藤 晃	小出 龍吾
		東金	一之森 正	霞 和惠	井深 敏和
		綱白里	町田 鉄嗣	小倉 利昭	森 延司
		九十九里	古川 義一	鈴木 清	石橋 孝夫
		山武	高橋 忠	長谷川 孝一	堀江 孝典
	2	千葉九十九里ひまわり	中村 静江	前嶋 里奈	矢野 律子
		茂原	宮原 秀行	倉 永 富男	竹 内 昭治
		上総	大川 駿也	吉野 健史	岡本 成志
		茂原長生	柳澤 秀明	磯部 純一	斎藤 正幸
		白子	上代 雅之	大野 俊弘	君塚 弐
10	1	白子	田村 正	齊藤 晃	小出



ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区キャビネット等組織表 (2013 ~ 2014 年度)



ゾーンチャーバーソン		1 R		2 R		3 R		4 R		5 R		6 R		7 R		8 R		9 R		10 R		11 R		12 R	
1 Z	2 Z	1 Z	2 Z	1 Z	2 Z	1 Z	2 Z	1 Z	2 Z	1 Z	2 Z	1 Z	2 Z	1 Z	2 Z	1 Z	2 Z	1 Z	2 Z	1 Z	2 Z	1 Z	2 Z		
L 成島龍也	L 古河守男	L 岩橋明	L 水野武明	L 川村和伸	L 松丸尚	L 藤原宏高	L 石原孝志	L 佐藤英世	L 嶋田弘行	L 町田和義	L 山本坤女	L 竹下怜子	L 御園生浩士	L 穴倉昌子	L 中澤寛義	L 飯塚丈夫	L 宮應利幸	L 栗田秀美	L 竹内廣一	L 伊藤領英	L 田村貞夫	L 佐瀬晃	L 伊藤正昭		
市川	浦安	中央	松戸中	松戸東	印西	柏オ	央	船橋中	船橋中	飛翔	鎌ヶ谷	東	千葉東	千葉若	千葉東	佐原	大栄	木更津	君津中	房総朝	館山南	茂原	山武		
市川	市川	フロンティア	ロード・ゼニシア	東・市川	東・市川	東・市川	東・市川	東・市川	東・市川	志野・八千代	八千代	八千代	八千代	八千代	八千代	八千代	八千代	八千代	八千代	八千代	八千代	八千代	八千代		
5	6	6	5	6	7	4	5	7	5	7	5	7	5	4	4	8	5	6	6	7	4	5	5		
112	169	135	107	111	183	127	112	160	141	180	99	93	107	212	110	74	210	157	233	83	155	65	137	90	77

リジョンに於けるホストゾーン・チェアパーソンの標記

主な年間行事予定（2013～2014年度）

公式行事

行事名・会場	期日	該当者
次期クラブ三役研究会 カンデオホテルズ千葉	2013年5月25日(土)	次期クラブ三役予定者
第96回国際大会 ドイツ・ハンブルク	2013年7月5日(金) ～9日(火)	
第1回キャビネット会議 ロイヤルヒルズ木更津ビューホテル	2013年8月3日(土)	キャビネット構成員等
ガバナー公式訪問	2013年11月7日(木) ～10月26日(土)	
第52回OSEALフォーラム シンガポール	2013年11月7日 ～10日(日)	
第2回キャビネット会議 千葉県経営者会館	2013年11月23日(土)	キャビネット構成員等
第3回キャビネット会議 カンデオホテルズ千葉	2014年2月15日(土)	キャビネット構成員等 十年次大会員
第60回地区年次大会前夜祭 オークラアカデミアパークホテル	2014年4月19日(土)	
第60回地区年次大会 かずさアカデミアホール	2014年4月20日(日)	
第4回キャビネット会議 ロイヤルヒルズ木更津ビューホテル	2014年6月8日(日)	キャビネット構成員等

主な行事

行事名・会場	期日	該当者
次期ZC研究会 ロイヤルヒルズ木更津ビューホテル	2013年4月28日(日) ～29日(月)	次期ZC・GMT・GLT予定者
次期キャビネット構成員等研修会 ホテルグリーンタワー幕張	2013年5月18日(土)	次期キャビネット構成員等予定者
夏期YCEサマーキャンプ 新潟県～千葉県	2013年7月25日(木) ～31日(木)	YCE委員会・YE生・YE生OB
地区レオ夏期研修会 君津亀山少年自然の家	2013年8月10日(土) ～11日(日)	青少年育成レオ委員会各レオクラブ・レオ顧問・各クラブより
地区献血推進研究会 千葉県経営者会館	2013年8月21日(水)	各クラブより参加
公認ガイドィングライオン研究会 千葉県経営者会館	2013年8月24日(土)	各クラブより参加
世界に発信！会員大交流会in333-C カンデオホテルズ千葉	2013年8月31日(土)	各クラブより参加
献血推進研究会 ホテルスプリングス幕張	2013年9月25日(水)	各クラブより参加
薬物乱用防止教育認定講師養成講座 千葉県経営者会館	2013年11月18日(月)	各クラブより参加
会員交流会・維持フォーラム カンデオホテルズ千葉	2013年12月8日(日)	各クラブより参加
地区リーダーシップ&CEFセミナー 千葉県経営者会館	2014年1月18日(土)	各クラブより参加
高校生スピーチコンテスト 千葉県教育会館	2014年1月25日(土)	各クラブより参加
フォロー・ユア・ドリーム（あなたの夢を語ろう） カンデオホテルズ千葉	2014年3月8日(土)	各クラブより参加
ヘレン・ケラーを学ぶ会 三井ガーデンホテル千葉	2014年3月15日(土)	各クラブより参加



参加のお誘い

お申し込みはクラブ経由でお願いします。

～認定講師資格を取得して子供達を薬物の魔の手から守る！～

薬物乱用防止教育認定講師養成講座

【日 時】 2013年11月18日（月）

受付 12:30~13:00 講座 13:00~16:30

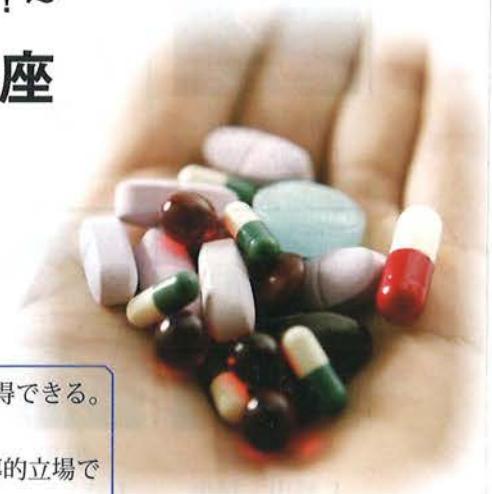
【会 場】 千葉県経営者会館

【登録費】 4,000円（テキスト代、認定証代含む）

※今年度は専門・実践講座の時間を増やし、より実践的な内容になっております。

ポイント

- 内閣府、厚労省、文科省、警察庁後援の認定講師養成講座で講師資格を取得できる。
- 講義用DVDや講義用資料も手に入る。
- 2012年9月～2013年10月迄に薬物乱用防止教室を主催者として指導的立場で3回以上実施した資格者には、受講するとゴールド資格が与えられる。



～参加すればわかる、ライオンズの楽しさ、素晴らしさ～

会員交流会・維持フォーラム

【日 時】 2013年12月8日（日）午後

【会 場】 カンデオホテルズ千葉

【登録費】 2,000円

ポイント

- 会員維持を目的とした交流会第2弾
- 参加すれば楽しさはわかる！



地区情勢

2013年8月31日現在

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
1	1	2	1	1	112
	2	1	4	-3	153
計		3	5	-2	265

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
5	1	2	2	0	155
	2	2	2	0	134
計		4	4	0	289

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
9	1	0	1	-1	203
	2	1	4	-3	152
	3	1	3	-2	222
計		1	5	-4	577

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
2	1	3	1	2	137
	2	3	2	1	107
計		6	3	3	244

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
6	1	6	3	3	188
	2	8	0	8	101
計		14	3	11	289

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
10	1	10	5	5	88
	2	1	7	-6	157
	計		11	12	-1

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
3	1	1	9	-8	99
	2	2	6	-4	203
計		3	15	-12	302

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
7	1	5	2	3	85
	2	0	1	-1	90
計		5	3	2	175

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
11	1	1	5	-4	62
	2	5	6	-1	164
	計		6	11	-5

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
4	1	0	0	0	125
	2	1	4	-3	113
計		1	4	-3	238

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
8	1	0	3	-3	205
	2	3	4	-1	119
計		2	5	-3	125
計		3	7	-4	449

R	Z	入会	退会	増減	在籍数
12	1	4	4	0	93
	2	0	0	0	78
	計		4	4	0



情報委員長
L.平野 寛明

各リジョンの情報委員です。

ITサポートやクラブニュース等でご不明の場合は、
各委員にお問い合わせ下さい。
1年間宜しくお願ひいたします。



第1R
L.杉山 民生



第2R
L.吉岡 稔隆



第3R
L.櫻田慎太郎



第4R
L.小柳 正和



第5R
L.比良田裕二



第6R
L.白井 正一



第7R
L.塚本 利政



第8R
L.保足 勝己



第9R
L.滝田 靖



第10R
L.鈴木 高大



第11R
L.佐藤 則泰



第12R
L.藤 広徳

クラブニュースの投稿について

各クラブよりニュースの投稿を受け付けております。地区HPに掲載致しますので、是非ともご投稿ください。
なお、下記のニュースについては特に強調して取り上げますので、奮ってご投稿ください。

- ・新入会員の入会式（新入会員を特別欄にてご紹介します。）
- ・100%例会（本誌欄でも取り上げますので、是非記念写真を。）
- ・女性会員や若手会員勧誘のための試みや催し
- ・ゾーン、リジョン合同アクティビティ、複数クラブでの合同アクティビティなど

投稿は全てこちらのメールアドレスへ

kanji@lionsclub333c.org

※投稿の際は、以下の点にご注意ください。

写真はワード等に貼り付けず、ファイルのママ添付してください。

写真等の添付ファイルの容量が大きすぎるとメールが届きません。以下のいずれかの方法をお試しください。

1. 写真の容量をダウンさせる。
2. 1枚の容量が1MB程度ならば、メール一通につき1枚ずつ添付する。
3. CD等のメディアに焼き付けて郵送する



方々へ配布されました。

会員のL中嶋英雄宅の隣が被害を受け、辛うじて難に会わなかつたが人ごとでなく、ブルーシートなど手配に奔走、後片付けボランティアに協力、野田ライオンズクラブの素早い対応に感謝を申し上げます。

総務省消防庁の3日午前10時半現在の集計

竜巻64人けが、家屋608棟被害埼玉・千葉、約6万軒停電

全壊は両市で8棟ずつの計16棟半壊は越谷市が78棟、野田市で4

越谷市、野田市に発生した竜巻報告

9月2日、地区ガバナーL正木守は、地区緊急災害対策本部会議招集連絡をし、3日にキャビネット事務局にて会議を行いました。

会議では、災害支援について協議

されましたが、被害が局部的なこ

ともあり、被災地である野田ライオンズクラブでの支援対応にとどめました。

野田ライオンズクラブのL高木次雄からの情報を受けながら、会員は2日当日に、ブルーシート5枚、ロープ、ウエス等、当面必要に自治体に持ち込み、被災された

編集後記



皆様に地区ニュース第1号をお送りします。今号の意図するところは、L正木守地区ガバナーのライオンズに対する想い、そして熱さを如何に皆様に伝播させるかにつきております。そのため、地区ニュースでは過去にない分量ではあります、ガバナーアンタビューや掲載致しました。是非とも熟読して頂き、ガバナーの言われるところの「美しい村」がどういったイメージなのか、皆様それぞれ、想像の翼を広げて考えていただければ幸いです。

国際大会が7月開催となつた都合により、8月よりキャビネットはフル回転で動いております。まさに暑い夏。行事が日高押しとなつておりました。どの行事も多数の参加者を得て盛況の内終了いたしましたが、都合で参加できなかつた皆様のためにも、そのエッセンスを解りやすく紙面に載せたつもりです。ぜひその雰囲気を感じ取つて頂いて、次回は是非ご参加下さい。

333-Cは他地区からの参加者も得て、また、L清水英徳国際理事にもご出席いただき、「ライオニズムの高揚」といつた雰囲気の内に終えることが出来ました。当然ながらこういったイベントにどういった意味があるのだ、といわれる方も当然おられますが、是非とも次回はご参加いただき、ライオンズの素晴らしさを体感していただければと思います。

今号がお手元に届く頃には、いよいよガバナー公式訪問が始まっています。是非とも予定をお繰り合わせてください、各リジョンにおかれでは大勢のメンバーでガバナーをお迎えいただければ幸いです。そしてL正木地区ガバナーの熱さを直接体感して下さい。

本誌も更に正木イズムを発信すべく、次号以降も意欲的に誌面作りに取り組みます。ご意見、ご要望等は情報委員会までお寄せ下さい。

(L平野)

[発行]	日】2013年9月20日
[編人]	地区情報委員長 L平野寛明
[発行]	地区ガバナー L正木 守
[発行]	ライオンズクラブ国際協会333-C地区 〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館4F 電話 043-243-2528 FAX 043-247-4756 URL http://lionsclub333c.org/
[表紙デザイン]	A10 [印刷] (有)マサキ印刷 〒292-0801 千葉県木更津市請西2-12-14

LIONS

2013

Vol.
1



Lions Club
International District
333-C

We Serve